

0001AJ2005-VWHO

# 鑑定評価書

2005年 5月 14日

XXX 銀行 殿

ご依頼いただきました鑑定評価につき以下の通りご報告致します。

(注)

現時点においては、スキー場の市場は極めて深刻な構造不況下にあります。  
本鑑定評価は、あくまでも現時点の市況を前提としたものです。今後、市況が変化  
した場合には価値が大幅に変動する場合もありえますのでご注意ください。

社団法人 日本不動産鑑定協会 会員  
東京都新宿区北町20-1-303  
株式会社 バリュウ ワークス

不動産鑑定士 山口 隆

(署名)

## ABCスキー場に関する調査報告書（目次）

- 1 -	価格の種類、評価額及び価格時点	.....	P. 01
- 2 -	調査分析作業の概要	.....	P. 01
- 3 -	対象不動産の売買履歴	.....	P. 01
- 4 -	対象資産の表示	.....	P. 02
- 5 -	評価の対象となった権利の種類、登記簿上の権利者	.....	P. 03
- 6 -	実査日及び評価を行なった年月日	.....	P. 03
- 7 -	評価の条件	.....	P. 03
- 8 -	評価の目的及び条件と価格の種類との関連	.....	P. 04
- 9 -	評価書の使用者及び開示範囲	.....	P. 04
- 10 -	縁故または特別の利害関係の有無	.....	P. 04
- 11 -	評価額決定の理由の要旨	.....	P. 05
	1. 不動産の価格形成に影響を与える一般的要因	.....	P. 05
	2. 対象不動産の位置及び交通機関	.....	P. 05
	3. 地域の概況	.....	P. 06
	4. 対象不動産の概況、及び行政上の規制等	.....	P. 06
	5. 最有効使用の判定	.....	P. 08
	6. スキー場（観光施設財団）の売買市場について	.....	P. 08
	(1) 余暇関連サービス業の経営動向	.....	P. 08
	(2) スキー客の入込客数の推移	.....	P. 08
	(3) ABCスキー場の経営状態の推移	.....	P. 09
	(4) スキー場売却の可能性について	.....	P. 09
	7. 評価方式の適用及び評価額の決定	.....	P. 10
	7-1. 原価法の適用	.....	P. 10
	7-2. 取引事例比較法の適用	.....	P. 11
	7-3. 収益還元法の適用	.....	P. 12
	7-4. 事業清算（引継先がない）の場合	.....	P. 12
	7-5. 試算価格の調整及び評価額の決定	.....	P. 13
Sheet-1-(1)	比準・規準表		
Sheet-1-(2)	建物価格一覧表		
Sheet-1-(3)	構築物等価格一覧表		
Sheet-2	収益還元法（DCF法）シナリオ（a）		
Sheet-3	収益還元法（DCF法）シナリオ（b）		
Sheet-4	貸借対照表・損益計算書・キャッシュフローの推移		
Sheet-5	固定資産償却明細台帳		
Sheet-6-(1)	スキー場の処分事例の主なもの		
Sheet-6-(2)	スキー場 経営状態 事例集		
	広域地図、住宅地図、公図、建物図面、写真等		

- 1 - 価格の種類、評価額及び価格時点

<価格の種類>

正常価格（現在の市況を前提とした場合の市場価格）

<市場公開期間>

スキー産業全体が深刻な構造不況下にあり、本件においては市場公開期間の如何による価格の差は生じにくいものと判断した。

<評価額>（現金基準、十万円未満四捨五入）

¥ 0. -（現市況下では有償譲渡は困難と判定）

（注・ 本件評価は収益価格を重視して評価額を求めているため、評価額は不動産を内包した事業全体の価値を求めたものとなっている。なお、本ケースでは不動産と不動産以外の価値の分離は困難である。）

<評価の価格時点>

2005年 5月1日

- 2 - 調査分析作業の概要

本件評価は、以下の調査分析作業を基にして行われたものである。

1. 対象スキー場について実地調査を行った。
2. 対象スキー場の経営状態について過去20年にわたって調査分析を行った。
3. 全国のスキー場の処分事例、経営状態について調査分析を行った。
4. 処分事例となった主要なスキー場について実地調査を行った。
5. スキー産業を含む余暇関連産業全般の市況について調査分析を行った。

- 3 - 対象不動産の売買履歴

対象不動産は1977年にスキー場として開発されて以来、これまで売買の対象となることがない。

- 4 - 対象資産の表示

1. 土地の表示

所在・地番	地目	地積 (㎡)
		(登記面積)
(1) XX県CD郡AB村GH976番	宅地	2,254.01
(2) XX県CD郡AB村GH978番1	宅地	152.23
(3) XX県CD郡AB村GH978番2	宅地	325.76
(4) XX県CD郡AB村GH979番2	宅地	345.65
		計 3,077.65
<p>上記土地のうち、登記簿上、観光施設財団の目録に組成物件として記載されているものは、(1)(2)(3)である。(4)は登記簿上財団組成物件ではなく、また単独でも抵当権が設定されていないため、積算価格の試算に当たっては評価対象外とした。</p>		
<p>所有者：ABCスキーリゾート株式会社                      評価の対象となった権利の種類：所有権</p>		

2. 建物・構築物等の表示

<p>Sheet-1-(2)、Sheet-1-(3) 記載のとおり                      (主な物件のみ評価対象とした)</p>
<p>観光施設財団目録への記載の有無、単独での抵当権設定の有無についても、別紙参照。なお登記簿上抵当権が設定されていない建物は積算価格の試算に当たっては評価対象外とした。</p>
<p>所有者：ABCスキーリゾート株式会社                      評価の対象となった権利の種類：所有権</p>

3. その他について

<p>スキー場敷地の大半は、国有林野 (249,227 ㎡) である。ABCスキーリゾート株式会社の自己所有地は駐車場敷地であって、ホテル等建物の敷地ではない。                      国有林野全体が、「国有林野有償使用契約書」により、行政財産として明示されて契約が行われている。                      行政財産については、国有財産法第18条第5項により、借地借家法(旧借地法)は適用されず、法定更新、建物買取請求権、造作買取請求権等は認められない。使用許可が取り消された場合は、原状回復義務が生じる。</p>
--

-5- 評価の対象となった権利の種類、登記簿上の権利者

<評価の対象となった権利の種類>

土地：所有権（前記-4-記載のとおり）[占有者：所有者]

建物・構築物等：所有権（前記-4-記載のとおり）[占有者：所有者]

その他：国有地：行政財産の使用許可（前記-4-記載のとおり）[占有者：賃借人]

<登記簿上の所有者>

（2005年4月20日現在）

駐車場土地、建物 → ABCスキーリゾート株式会社（前記-4-記載のとおり）

国有地 → 林野庁（前記-4-記載のとおり）

-6- 実査日及び評価を行なった年月日

2005年4月20日（実査日）

2005年5月1日（行なった日）

-7- 評価の条件

1. 観光施設財団及び建物等の評価

現在、わが国のスキー産業界は深刻な不況下にあり、採算の低下したスキー場施設の売却には困難が伴う。本件評価は今後の事業継続を前提とした資産の価値把握を行なうものであるが、清算価値も念頭に置きつつ評価を行った。

2. 登記簿上は財団（貴行抵当権設定あり）の組成物件となっていない建物（貴行抵当権設定あり）が存するが、単独での処分は困難であると思われるため、ここでは財団の組成物件と同様に考えて評価を行った。

3. 対象不動産には抵当権が設定されているが、本件評価においては、物件売買時に抵当権抹消を行うことを前提に、所有権を妨げる何らの権利も付着していない状態を前提として評価を行った。

4. 現時点においては、スキー場の売買市場は極めて深刻な構造不況下にある。本評価は、あくまでも現時点の市況を前提としたものである。今後、市況が好転した場合には価値が回復する場合もある点に留意が必要である。

5. これまでの土地の利用実績から考えて、土壌汚染の可能性は低い。ここでは土壌汚染はないものとして評価を行う（本件評価書は土壌汚染が発見された場合の責任は負わないものとする）。

**- 8 - 評価の目的及び条件と価格の種類との関連**

本件評価の依頼目的は担保評価の参考のためで、価格の種類は現市況下で不良債権の担保不動産を処分することを前提とした場合の市場価格（正常価格）である。

（注.. 現市況下ではスキー産業全体が構造不況下にあり、対象不動産について市場公開期間の如何及び処分方法の如何による価格の差は生じにくいため、価格の種類は敢えて特定価格としなかった。）

**- 9 - 評価書の使用者及び開示範囲**

本件評価書は評価依頼者による使用のみを前提としたものである。

**- 10 - 縁故または特別の利害関係の有無**

下記の関係において、縁故、資本関係、特別な利害関係は存在しない。

- ・ 評価者及び鑑定業者と、対象資産。
- ・ 評価者及び鑑定業者と、評価依頼者。
- ・ 評価者及び鑑定業者と、評価書の開示・提出先。

本件評価に伴う報酬は成功報酬ではない。

本件評価は、独立した立場で客観的に行われたものである。

## - 1 1 - 評価額決定の理由の要旨

### 1. 不動産の価格形成に影響を与える一般的要因

#### <経済などの要因>

日本経済はバブル崩壊後低迷が続き、これに対して日本銀行は低金利政策を、また政府も公共投資や住宅政策等様々な景気浮揚策を講じてきたが、我が国経済は全体として、なお厳しい状況にある。

しかし、株価が底をうったことなど明るさも見えてきており、2005年3月の内閣府月例経済報告では「企業部門の好調さが持続しており、世界経済の着実な回復に伴って、景気回復は底堅く推移すると見込まれる」としている。

#### <地価動向>

不動産の取引市場においては、1980年代後半～1991年前後にかけてのバブル経済が崩壊した後、低迷する経済情勢により需要は伸び悩み、取引は一部好条件のものを除き全般的には低調な状況が継続してきたが、近時ようやく回復傾向が見られるようになってきた。

国土交通省がまとめた2005年の地価公示価格（2005年1月1日現在の価格）により2004年1月以降一年間の全国の地価状況を概観すると、全国平均で前年比 $\Delta$ 5.0%の下落で、14年連続して下落したが、下落幅は縮小している。

三大都市圏では全用途平均で $\Delta$ 3.9%の下落となった。下落率は前年より2.0%縮小し底入れ感が出てきた。人口流入やオフィス需要の回復、不動産投資の拡大が主因と見られている。地方圏も8年ぶりに下落率が縮小した。

### 2. 対象不動産の位置及び交通機関

#### 最寄り鉄道駅

JR東日本 XX線 AB駅

最寄り鉄道駅からの方位と距離（直線距離）

北東方 約15km

#### 最寄りインターチェンジ

XX高速道路 ABインターチェンジ

最寄りインターチェンジからの方位と距離（直線距離）

北東方 約13km

### 3. 地域の概況

AB村は、AB原、CD高原、EF湖、GH山等の自然景観、IJ等の温泉郷と、豊富な観光資源に恵まれている。

XXXX年XX月XX日のXX新幹線の開業、及びYYYY年秋のYY高速道路全面開通により、首都圏、主要都市と直結されることになった。

このような諸情勢を反映して、観光産業中心に第3次産業は発展傾向で推移してきたが、近年は、不況の長期化・余暇の過ごし方の多様化等の影響を受け、宿泊観光客、スキー客とも下落傾向が顕著となっている。

スキー場では、ABCスキー場、EFGスキー場、HIJスキー場、KLMスキー場、NOPスキー場、QRSスキー場、TUVスキー場、XYZスキー場の8つのスキー場を擁していたが、このうちQRSスキー場は経営上の問題から閉鎖され、XYZスキー場は民事再生法適用となっている。XYZスキー場は、AB村などが出資する第三セクター所有であり、村に深刻な影響を与えている。

### 4. 対象不動産の概況、及び行政上の規制等

スキー場の概況は次のとおりである。

#### (1) 交通アクセス

<車利用の場合> 東京から約3～4時間

〇〇インターチェンジ（〇〇高速道路）— ××インターチェンジ —（国道〇〇号線）13Km — 〇〇交差点（国道××号線）6Km — ABCスキー場

<列車利用の場合> 東京から約3時間（乗継時間含む）

東京駅（〇〇新幹線）— ××駅 — バス 60分 — ABCスキー場

#### (2) 接面街路概況

<区分>

中間画地

<状況>

方位	幅員	舗装	種別	道路からの高低差
西側	約8m	有	村道	ほぼ等高

#### (3) コースの概要

<地勢> 東側にある山から西側にある平坦地へ向かって下り傾斜。

標高差 520m

ホテル等の設備は西側の平坦地にある。

<コース数> 大中小 9コース

<代表的なコース> 〇〇コース 1200m、最大斜度 25度、平均斜度 19度



××コース 760m、最大斜度 22 度、平均斜度 16 度  
モーグルコース 720m、最大斜度 27 度、平均斜度 20 度  
スノーボード ハーフパイプ 3  
<リフト数> 全7基  
<平均積雪量> 12月 70cm、1月 200cm、2月 250cm、3月 200cm、4月 140cm

(4) 供給処理施設の整備状況

<電 気> 東京電力 引込済  
<上水道> 自家用水道 (村営簡易水道引込みなし)  
<下水道> 自家用浄化槽 (公共下水道引込みなし)  
<都市ガス>自家用給油設備 (都市ガス引込みなし)

(5) 現在の利用状況

スキー場、ホテル等の敷地

対象建物の概況は Sheet-1-(2) (3) 記載のとおりであるが、そのうちホテルの概況は次のとおりである。

<建築時期>

1988年12月頃新築

<使用資材・施工の程度>

リゾートホテルとして中品等

<現在の利用状況>

ホテル、スキー場事務所として利用

<維持管理状況>

修繕工事にやや遅れが見られる

<減価の程度>

経過年数に比してやや減価大。今後大規模修繕が必要と思われる。

<施設/設備>

客室： 70 室  
飲食： レストラン 1  
会議室： 大宴会場 1、中会議室 1  
駐車場： 300 台  
エレベータ： 1 基  
その他： 売店 1、大浴場 2、乾燥室 1

対象不動産に係る行政上の規制は次のとおりである。

(1) 都市計画区域外、用途指定なし。

- (2) 大規模開発の場合は「A B村景観条例」がかかる。
- (3) Q R国立公園の地域内には入っていないため、自然公園法の規制は受けない。

## 5. 最有効使用の判定

### <更地としての最有効使用>

現在のスキー産業の深刻な不況を考慮に入れた場合、対象地の更地としての最有効使用は現状の使用とは異なり林地としての使用であると判定した。

### <複合資産としての最有効使用>

スキー場施設が整っている現状及びその取壊しに必要なコストを考慮に入れた場合、複合資産としての最有効使用は、より経営力のある主体の運営によるスキー場としての使用であると判定した。

## 6. スキー場（観光施設財団）の売買市場について

### (1) 余暇関連サービス業の経営動向

自由時間デザイン協会が発表した「レジャー白書」では、余暇関連サービス業の経営動向の厳しい実態が浮き彫りとなった。大半の業種が、客数の減少、テコ入れのための価格の引き下げ、売り上げの減少、採算の悪化といったデフレスパイラルから抜け出せずにいる。

余暇関連産業17業種を対象に、利用客数、売上げ、収支バランス、客単価などの動向を調査した結果、利用客数は、フィットネスクラブ、旅行業の2業種で増加したが、それ以外では減少傾向が続いた。売り上げは全業種で減少。スキー場、ペンション、遊園地、劇場・ホールで赤字事業所の多さが目立った。

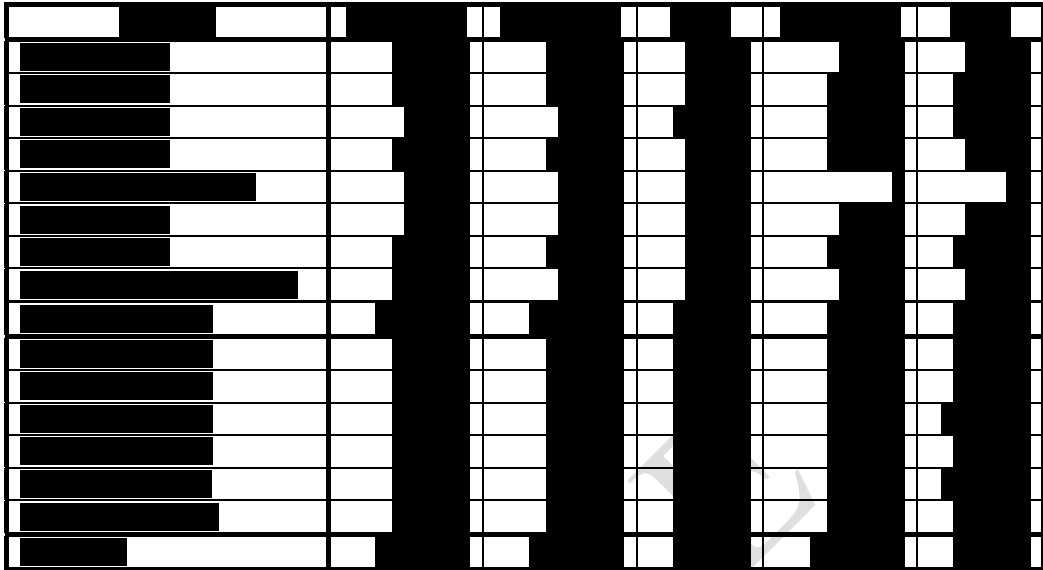
客単価の減少傾向も続いている。スキー場の場合、来場者数の減少に伴う顧客獲得競争が激しくなっており、リフト券や食事などがパック商品として低価格で販売される傾向が強まったことがこの傾向に拍車をかけている。

### (2) スキー客の入込客数の推移

スキー場経営は、バブル崩壊後数年で急激に市況が悪化しはじめた。バブル期にスキー場の新規参入が相次いだが、その供給を支えていたスキーブームが終焉。その後の長期不況により入場者数が激減し並行して客単価も落込んだ影響が大きい。

A B県のスキー場来場者数は、この6年間で45.4%減少した。このうちA B村のスキー場は49.9%の減少、A B Cスキー場は55.5%の減少であった。

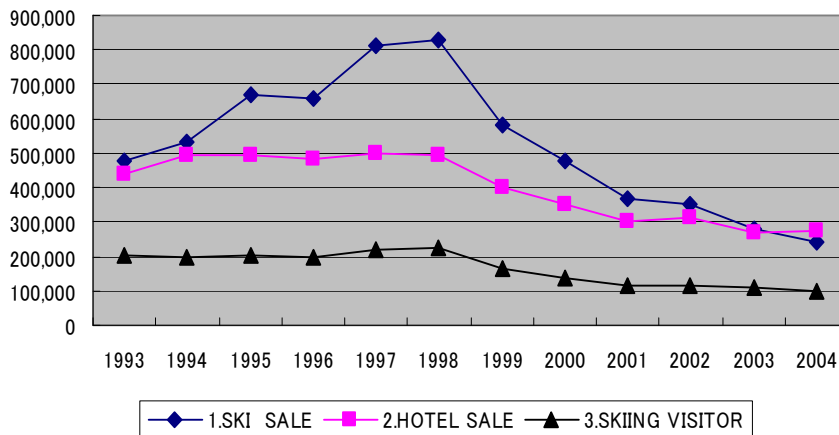
(A B 県のスキー場来場客数の推移)



(QRSスキー場及びAKLスキー場は閉鎖された。XYZスキー場は民事再生となった。)

(3) ABCスキー場の経営状態の推移

こうした中、ABCスキー場の経営状態は下図の推移を示している。



(4) スキー場売却の可能性について

ここ数年来のスキー場不況の中で、経営悪化→経営撤退を検討→譲渡先模索中、となっているスキー場はかなりの数にのぼる。しかし、経営を続けるほど累積赤字が膨らむ構造では、無償でも引受け手が見つからず、閉鎖となる事例も見受けられる。

収益還元法の考え方に基づくならば、収益を生まないスキームの価値はゼロである。立地条件が特殊であり、構造転換して他の収益性のある用途への転換も困難なケースが多いであろう。

たとえ資産が低額で譲渡され、減価償却費・繰延資産償却費・借入元利返済金等の負担が減少したとしても、譲受後に、通常の経費・資本的支出等負担後のキャッシュフローが将来継続的にマイナスの見込みであるならば、買い手が現われることを期待するのは困難である。最悪の場合、市場価値はゼロと判断せざるを得ないケースも生じうる。

## 7. 評価方式の適用及び評価額の決定

事業譲渡を前提とした資産の価値は、譲受人不在の場合の事業清算を前提とした資産の価値とは乖離する。

対象資産の場合、事業譲渡を前提とするならば、資産譲渡後に譲受人が得られるであろうキャッシュフローを前提とした価値の把握が中心となる。

また、事業清算を前提とした場合は、土地及び中古で売却可能な資産の価格、及び、売却見込みのない資産の取壊費用等の把握が中心となる。

本件評価においては、前記5記載内容を踏まえ、担保評価の安全性の観点から、事業清算（譲受人不在）の場合の価値をも考慮しつつ、原価法、取引事例比較法及び収益還元法を適用して、事業譲渡を前提とした評価を行なうこととした。

### 7-1. 原価法の適用

#### (1) 土地価格（造成費含む）

対象地の所在する近隣地域または同一需給圏内の類似地域における対象地と類似の土地に係る多数の取引事例を収集し、そのうちから適切な事例を選択してこれらに係る取引価格に必要に応じて事情補正及び時点修正を施して規範性あるものとした後、対象地との間において、地域要因及び個別的要因を比較検討して求めた諸価格を比較考量し、比準価格を@9, 200円/㎡と求めた（Sheet-1-(1)参照）。

979番2の土地は登記簿上財団組成物件ではなく、また単独でも抵当権が設定されていないため、積算価格の試算に当たっては評価対象外とした。

また、行政財産である国有地、及び建物の敷地として利用されていない民有借地については、次の理由により無評価とした。

\* 借地借家法（旧借地法）の保護が及ばないこと。

- \* 本件においては後記収益還元法で見るとスキーマ全体としてみた純収益はゼロに近く、これらの土地も純収益に貢献していないものと判断されること。
  - \* 造成費等は減価償却期間超過済みであること。
  - \* 今後の処分に伴い無価値化する可能性が高いこと。
- 従って、土地全体の価格を次のとおり、¥28,300,000.-と査定した。
- $$9,200 \text{ 円/m}^2 \times 3,077.65 \text{ m}^2 \doteq \text{¥}28,300,000.-$$

## (2) 建物の価格

対象建物の使用資材、施工の程度等について分析検討し、更には近時における建築費の動向をも併せて考慮、Sheet-1-(2)記載のとおり、……………  
¥418,400,000.-と査定した。

## (3) 構築物等の価格

設備の良否、能力、形式等を検討して価格時点における再調達原価を求め、維持補修の程度、配置、稼働状況等を検討して耐用年数による方法と観察減価法とを併用して減価修正を行ない、構築物の価格を、Sheet-1-(3)記載のとおり……………  
¥369,000,000.-と査定した。

## (4) 合計の積算価格

上記(1)(2)(3)により土地、建物、及び構築物等別に価格を求めたが、これにスキーマとして一体的観察を加え、操業中の現況における積算価格を……………  
¥815,700,000.-と試算した。

## 7-2. 取引事例比較法の適用

全国のスキー場の売買事例を収集し、対象不動産の市場性について検討した。しかし、対象不動産と類似した中規模のスキー場の処分では地方自治体への無償譲渡の事例が大半を占めている(Sheet-5-(1)(2)参照)。これは、将来のキャッシュフローが見込めない案件が多く、投資案件として極めてリスクが高いため、民間事業者への売却が進まないためであると考えられる。

対象不動産が所在するAB村は、人口8,500人の小さな村であるが、現在、7つのスキー場をかかえている。また、これらのうちAB村が参加する第3セクターのXYZスキー場は民事再生法による再建途上で、AB村の財政に大きな影響を与えている。従って、AB村による引き取りは無償でも困難であると思料される。

一方、全国のスキー場の処分事例では、県が無償譲受したものも存在する。しかし、

スキー産業全体の経営環境が急激に悪化している中で、財政難の地方自治体には引き取りを拒むケースも出ている。経営状態の悪化したスキー場を多数かかえるXX県による無償の引き取りも困難であると思料される。

経営の悪化した中規模のスキー場の有償譲渡は、現下の市況では極めて困難である。従って、比準価格については¥0. -と試算した。

### 7-3. 収益還元法の適用

対象不動産に係る収入、支出、資本的支出等を分析し、対象不動産が生み出すであろうキャッシュフローを予測し、これを適切な利回りで現在価値に割り戻し、対象不動産の収益価格（DCF法）を査定した。

なお、収益価格は将来のキャッシュフローを予測し、その現在価値を把握することにより求められる。将来時点のキャッシュフローの見込みは、今後の経済情勢の推移、他のスキー場の経営動向（閉鎖等に伴う需給バランスの変化等）により大きく影響を受ける。従って、ここでは、将来予測に当たって、次の2通りのシナリオを採用することとした。

- (a) 不況の長期化に伴い、経営数値が2004年度なみの低水準で、今後10年間推移することを想定した場合。
- (b) 2年目から経営が好転し、5年後には1999年度なみの水準に回復することを想定した場合。

それぞれのシナリオのキャッシュフローに基づく収益価格（DCF法）を次のとおり試算した。

- (a) による場合の収益価格  
¥0. - 有償譲渡は困難と判定 (Sheet-2 参照)
- (b) による場合の収益価格  
¥22,500,000. - (Sheet-3 参照)

### 7-4. 事業清算（引継先がない）の場合

なお、引継先を得られないまま事業を清算する場合についても検討を行った。しかし、土地以外の有形固定資産（Sheet-4 参照）については、スキー場全体を構成する

組成物件としてのみ交換価値を有するものが大半である。また、スキー業界全体が不況の中で中古品として独立して売却可能な土地以外の資産は、車両関係、一部の機械装置、その他少額な資産に限られている。

一方において、事業清算を前提とした場合、国有地（行政財産）を原状に復して返還する必要が生じ、建物・構築物等の取壊し費用等が発生する。

国有地を原状に復するために必要な費用は、独立して換金可能な資産の価格を2億円程度上回るものと試算した。

#### 7-5. 試算価格の調整及び評価額の決定

以上により、

積算価格	—	¥ 8 1 5 , 7 0 0 , 0 0 0 . —
比準価格	—	¥ 0 . —（有償譲渡は困難）
収益価格(a)	—	¥ 0 . —（有償譲渡は困難）
収益価格(b)	—	¥ 2 2 , 5 0 0 , 0 0 0 . —

の試算価格を求めたが、各試算価格には乖離が生じた。

ここで求めた積算価格は、費用性に着目して査定したもので、対象不動産を新規に調達することを想定してその原価を査定し、ここから物理的、機能的、経済的要因等にもとづく減価額を控除して査定した市場性減価修正前の試算価格である。

市況の悪化に伴い経営状態の悪化した汎用性の乏しい特殊事業用資産は、コストに見合う価格で売却できない場合が多い。このため、処分価格の実態と大きく乖離したものと考えられる。スキー業界全体の不況状態を勘案した場合、市場性減価を勘案していない上記積算価格は売希望価格としての意味しか持たないものとする。

一方で、収益価格を求めるに際しては、その前提となる将来時点のキャッシュフローの把握に当たって、経済推移の不確実性と確率の問題が不可避免的に随伴する。

しかし、現在の不況下では、たとえ対象資産を低額で譲渡したとしても、譲受人サイドの経営は楽観できないことが複数の試算結果から明らかである。

今後、現在と同レベルの売上高が継続する場合は、無理のない経費・資本的支出を前提とするならば、譲受人の経営も極めて厳しいものとなる。また、今後、現在よりさらに経営環境が悪化する可能性も存在する。

将来的に経営環境が好転しない場合は、譲受人サイドで事業清算・国有地（行政財産）の原状回復・返還等のリスクを負担する事態も生じうる。

このような状況下では、対象資産の購入者を民間投資家に求めることは至難である。

なお、民間を前提としない場合は、経営悪化したスキー場を地方自治体が無償で譲り受けた事例はあるが、既述のとおり、対象不動産の場合は地方自治体への無償譲渡も困難が予想される。

従って本件評価においては、担保評価の安全性を十分に勘案したうえで、比準価格及び収益価格(a)を重視することとし、現下の不況下においては、対象資産の有償譲渡は困難であると判定し、評価額を ¥0. - と査定した。

なお、上記評価額はあくまでも価格時点におけるものである。今後、市況が好転した場合には価値が回復することもありえるため留意を要する。

以 上



## 比準価格の試算・公示価格等からの検討

Sheet-1-(1)

取引事例比較法	符号	所在地	種別・地積・取引日	取引価格 (A)	事情補正 (B)	時点修正 (C)	標準化補正 (D)	地域要因 の比較(E)	A×B×C×D×E	標準価格	個別的 要因の比較	比(規)準価格				
取引事例比較法	A	ABC村大字蒲田	種別 宅地	円/m <sup>2</sup>	100	99	100	100	円/m <sup>2</sup>	9,200	100 100 ⑪	円/m <sup>2</sup> 9,200				
			地積 713.50m <sup>2</sup>	7,010	100	100	80	96	9,036							
			取引日 2004/12/21			①	②									
	B	ABC村大字下平	種別 宅地	円/m <sup>2</sup>	100	99	100	100	円/m <sup>2</sup>							
地積 238.00m <sup>2</sup>			9,183	60	100	100	156	9,713								
時点 2004/09/17					⑨	⑩										
C	ABC村大字蒲田	種別 宅地	円/m <sup>2</sup>	100	96	100	100	円/m <sup>2</sup>								
		地積 483.58m <sup>2</sup>	16,783	130	100	98	140	9,033								
		取引日 2003/08/26			③	④										
D	ABC村大字蒲田	種別 宅地	円/m <sup>2</sup>	100	94	100	100	円/m <sup>2</sup>								
		地積 142.94m <sup>2</sup>	15,671	100	100	100	164	8,982								
		取引日 2002/12/15			⑤	⑥										
規準	α	基準地 -1 ABC村大字花咲	種別 宅地	円/m <sup>2</sup>	-	98	100	100	-	-	100 100 ⑪	円/m <sup>2</sup> 9,000				
			地積 570m <sup>2</sup>	12,700		100	100	139								
			時点 2004/07/01				⑦	⑧								
補正率・格差率等の補正説明	符号	個別的要因の内訳およびその標準化補正						地域要因の内訳						摘要		
		街路条件	接近条件	環境条件	行政的条件	画地条件	その他	計	街路条件	接近条件	環境条件	行政的条件	その他	計		
	A	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	*1 不整形△20	*4 利用状況△5
		100	100	100	100	80	100	80	98	103	95	100	100	96	*2 街路条件△2	*5
	B	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	*1 不整形△20	*4 利用状況+35
		100	100	100	100	100	100	100	110	105	135	100	100	156	*2 街路条件+10	*5
	C	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	*1 不整形△2	*4 利用状況+40
		100	100	100	100	98	100	98	97	103	140	100	100	140	*2 街路条件△3	*4
C	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	*1 不整形△20	*4 利用状況+45	
	100	100	100	100	100	100	100	110	103	145	100	100	164	*2 街路条件+10	*5	
α	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	*1 不整形△20	*4 利用状況+30	
	100	100	100	100	100	100	100	104	103	130	100	100	139	*2 街路条件+4	*5	
対象地	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	*3 交通+3		

時点修正率      2002年07月01日    ~    2003年06月30日      - 2.0%  
                          2003年07月01日    ~    2004年06月30日      - 2.5%  
                          2004年07月01日    ~    2005年05月01日      - 2.0%

## 建物 積算価格の内訳

2005/05/01

符号	家屋番号	構造	種類	観光施設 財団	抵当権 設定	新築 年月日	再調達 原価	築年数	経済的 耐用年数	観察 減価	単価 円/㎡	床面積 ㎡	積算価格 円	備考
1	87番 主	鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板葺・陸屋根5階建	旅館		設定あり	1988/12/17	212,000	16.00	37.00	50.0%	60,200	5,136.14	309,100,000	ABCホテル
2	87番 符号1	木造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建	店舗		設定あり	1988/12/17	167,000	16.00	20.00	70.0%	23,400	159.33	3,700,000	スキーセンター
3	87番 符号2	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建	機械室		設定あり	1988/12/17	167,000	16.00	20.00	50.0%	16,700	125.78	2,100,000	機械室
4	102番	鉄筋コンクリートブロック造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建	浴室・ポイ ー室		設定あり	1981/12/09	167,000	23.00	25.00	90.0%	12,000	285.50	3,400,000	大浴場
5	107番	木・鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建	宿舎・店 舗		設定あり	1984/12/21	167,000	20.00	25.00	90.0%	30,100	447.80	13,400,000	木造従業員宿 舎・レンタルハウス
6	90番 主	鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板葺2階建	旅館		設定あり	1965/12/23	182,000	39.00	50.00	90.0%	36,000	708.20	25,400,000	第1別館
7	90番 符号1	木造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建	渡廊下		設定あり	1965/12/23	167,000	39.00	25.00	100.0%	0	144.87	0	渡廊下
8	95番	木造一部鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板葺2階建	倉庫兼乗務 員休憩室		設定あり	1970/12/06	167,000	34.00	25.00	100.0%	0	59.67	0	駐車場管理室
9	101番	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建	旅館		設定あり	1980/11/30	167,000	24.00	25.00	90.0%	6,000	913.98	5,400,000	第2別館
10	976番	木造セメント瓦亜鉛メッキ鋼板葺2階建	居宅	目録に記 載あり		1976/11/20	167,000	28.00	25.00	100.0%	0	197.27	0	職員用住宅
11	976番の2	木造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建	倉庫		設定あり	1979/12/02	120,000	25.00	20.00	100.0%	0	179.49	0	木造第2倉庫
12	101番の3	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建	倉庫		設定あり	1988/12/01	120,000	16.00	20.00	50.0%	12,000	203.32	2,400,000	倉庫
13	97番	木造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建	更衣室・ 便所		設定あり	1989/12/01	150,000	15.00	20.00	80.0%	30,000	157.96	4,700,000	更衣室
14	101番の2	木造亜鉛メッキ鋼板葺2階建	事務所・ 倉庫		設定あり	1991/12/28	150,000	13.00	20.00	50.0%	26,300	199.36	5,200,000	索道詰所
15	96番の3	鉄筋コンクリート、木造、アルミニウム板葺2階建	店舗	目録に記 載あり		1994/02/01	180,000	11.00	30.00	80.0%	91,200	460.10	41,900,000	ロジックレストラン
16	104番	木造亜鉛メッキ鋼板葺2階建	店舗		設定あり	1984/12/15	150,000	20.00	20.00	70.0%	0	229.07	0	グリーンボックス
17		木造亜鉛メッキ鋼板葺2階建	事務所		保存登記 なし							169.30	0	ゴールハウス
18		木造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建	事務所		保存登記 なし							212.61	0	案内センター

符号	家屋番号	構造	種類	観光施設 財団	抵当権 設定	新築 年月日	再調達 原価	築年数	経済的 耐用年数	観察 減価	単価 円/㎡	床面積 ㎡	積算価格 円	備考
19		鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建	倉庫		保存登記 なし							469.22	0	重機格納庫
20	89番	木造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建	運転室		設定あり	1988/12/08	100,000	16.00	20.00	70.0%	14,000	16.62	200,000	第1へアリアト
21	88番	木造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建	運転室		設定あり	1988/12/08	100,000	16.00	20.00	70.0%	14,000	16.62	200,000	第2Aへアリアト
22	90番7	鉄骨造鉄板葺平屋建て	機械室		設定あり	1978/12/11	100,000	26.00	20.00	100.0%	0	18.46	0	第2Bへアリアト
23	96番	木造亜鉛メッキ鋼板葺地下1階付平屋建	運転室・ 変電所		設定あり	1991/12/05	100,000	13.00	20.00	50.0%	17,500	57.11	900,000	第3高速へアリアト
24	96番の2	木造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建	運転室		設定あり	1991/12/05	100,000	13.00	20.00	50.0%	17,500	14.96	200,000	第3高速へアリアト
25	108番主	木造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建	運転室		設定あり	1984/12/22	100,000	20.00	20.00	100.0%	0	17.45	0	第6へアリアト
26	108番符号1	鉄骨造鉄板葺平屋建	重錘室		設定あり	1985/09/06	100,000	20.00	20.00	100.0%	0	13.49	0	第6へアリアト
27	108番符号2	木造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建	運転室		設定あり	1985/09/06	100,000	20.00	20.00	100.0%	0	13.31	0	第6へアリアト
28	98番2	木造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建	運転室	目録に記 載あり		1988/12/08	100,000	16.00	20.00	80.0%	16,000	16.62	200,000	第4へアリアト
											合計	10,643.61	418,400,000	

## 構築物・機械装置・車両運搬具 積算価格の内訳

### 構築物

符号	分類	数量	積算価格 円	備考
1	降雪機 配管設備、燃料タンク、ポンプ貯水槽、その他	一式	66,500,000	
2	貯水池	一式	7,600,000	
3	第1ペアリフト支柱	一式	3,800,000	
4	第2ABペアリフト支柱	一式	9,500,000	
5	第3高速ペアリフト支柱	一式	10,500,000	
6	第4ペアリフト支柱	一式	2,900,000	
7	第5高速ペアリフト支柱	一式	28,500,000	
8	第6ペアリフト支柱	一式	11,400,000	
9	第5高速ペアリフト停留場	一式	23,800,000	
10	照明器具	一式	6,700,000	
11	ハーフパイプ	一式	3,800,000	
12	自家用給油施設 擁壁、排水、地下槽、電気設備	一式	2,900,000	
13	案内看板	一式	1,900,000	
14	固ガン用ポール、手動ハイドランド、U字溝、通信設備、その他	一式	9,500,000	
		合計	189,300,000	

### 機械装置

符号	分類	数量	積算価格 円	備考
1	第1ペアリフト設備	一式	4,800,000	
2	第2ABペアリフト設備	一式	9,500,000	
3	第3高速ペアリフト設備	一式	57,000,000	
4	第4ペアリフト設備	一式	4,800,000	
5	第5高速ペアリフト設備	一式	33,300,000	
6	第6ペアリフト設備	一式	2,900,000	
7	降雪機用コンプレッサー	一式	14,300,000	
8	降雪機用 送水ポンプ	一式	4,800,000	
9	降雪機用 燃料ポンプ	一式	1,900,000	
10	降雪機用 加圧給水ポンプ	一式	1,900,000	
11	降雪機用 多段タービンブースターポンプ	一式	2,900,000	
12	スノーガン、固定式ガン、自走式スノーマシン、その他	一式	14,300,000	
		合計	152,400,000	

### 車両運搬具

符号	分類	数量	積算価格 円	備考
1	第1ペアリフト搬器	一式	9,500,000	
2	第2ABペアリフト搬器	一式		
3	第3高速ペアリフト搬器	一式		
4	第5高速ペアリフト搬器	一式		
5	第7ペアリフト搬器	一式		
6	スノーモービル	一式		
7	ロータリー除雪車	一式		
8	三菱ふそう小型バス	一式		
9	スバルインプレッサワゴン、トヨタカリブ、日産ローレル その他	一式		
		合計	9,500,000	

構築物・機械装置・車両運搬具 積算価格の合計

¥369,000,000

## ■収益価格試算表（2004年度と同程度の売上が継続する場合）

Sheet-2

単位（円）

項目	価格時点	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	10年後売却時
収入												
事業売上高		517,098,653	517,098,653	517,098,653	517,098,653	517,098,653	517,098,653	517,098,653	517,098,653	517,098,653	517,098,653	
その他収入		10,604,073	10,604,073	10,604,073	10,604,073	10,604,073	10,604,073	10,604,073	10,604,073	10,604,073	10,604,073	
小計		527,702,726	527,702,726	527,702,726	527,702,726	527,702,726	527,702,726	527,702,726	527,702,726	527,702,726	527,702,726	
支出												
事業原価		100,697,217	100,697,217	100,697,217	100,697,217	100,697,217	100,697,217	100,697,217	100,697,217	100,697,217	100,697,217	
販売費		21,474,531	21,474,531	21,474,531	21,474,531	21,474,531	21,474,531	21,474,531	21,474,531	21,474,531	21,474,531	
人件費		172,185,748	172,185,748	172,185,748	172,185,748	172,185,748	172,185,748	172,185,748	172,185,748	172,185,748	172,185,748	
管理費		146,824,945	146,824,945	146,824,945	146,824,945	146,824,945	146,824,945	146,824,945	146,824,945	146,824,945	146,824,945	
(減価償却費除く)												
資本的支出		216,500,000	116,500,000	116,500,000	116,500,000	116,500,000	116,500,000	116,500,000	116,500,000	116,500,000	116,500,000	
小計		657,682,441	557,682,441	557,682,441	557,682,441	557,682,441	557,682,441	557,682,441	557,682,441	557,682,441	557,682,441	
CF		0	-129,979,715	-29,979,715	-29,979,715	-29,979,715	-29,979,715	-29,979,715	-29,979,715	-29,979,715	-29,979,715	-39,979,715
CFの現価		0	-113,025,839	-22,668,972	-19,712,149	-17,140,999	-14,905,217	-12,961,058	-11,270,485	-9,800,422	-8,522,106	-7,410,527
CFの現価の総和		-237,417,775									転売価格	-242,823,742
収益価格		¥-297,400,000（CFの現価の総和+転売価格の現価）四捨五入 → 0円と査定									転売価格の現価	-60,022,315
基本利率		15.0%（査定理由） 本物件では貸付リスクが大きいため、借入金割合を30%、自己資金割合を70%とした。										
変動率		0.0% 営業改善により譲渡後に経営黒字が期待できる場合の投資家の自己資金期待利回りを20%とした。										
転売時危険率		2.0% 累積赤字が大きいため税引き前キャッシュフローを税引き前利回りで還元することとし、基本利率を4%×0.3+20%×0.7≒15%と査定。										

（経営状態が大きく悪化する前の資本的支出の平均値）

	固定資産取得価格の推移・・・A		繰延資産取得価格の推移・・・B			A+B
			うち滑降場造成整備費	うち開発研究費	うち改修負担金	
1988年度	887,438	1988年度	191,162,214	0	0	192,049,652
1989年度	381,042,215	1989年度	38,057,762	0	0	419,099,977
1990年度	121,107,897	1990年度	17,597,930	0	0	138,705,827
1991年度	225,507,476	1991年度	21,478,773	1,850,000	0	248,836,249
1992年度	439,449,452	1992年度	217,897,955	0	0	657,347,407
1993年度	122,877,225	1993年度	11,782,524	770,000	0	135,429,749
1994年度	220,539,783	1994年度	7,521,938	233,000	0	228,294,721
1995年度	225,196,874	1995年度	3,951,000	0	0	229,147,874
1996年度	56,082,648	1996年度	13,199,550	0	0	69,282,198
1997年度	47,920,721	1997年度	1,261,575	402,400	0	49,584,696
10年間平均	184,061,173	10年間平均	52,391,122	325,540	0	236,777,835

2004年度予算 資産計上投資額

第3リフト減速・キヤボックスOH	14,500,000
高速リフト圧搾機OH用工具	7,300,000
高速リフト圧搾機OH用クレーン	1,850,000
圧雪車OH3台	4,550,000
その他	0
合計	28,200,000

← 最大限切り詰めた内容

1988年度 第3リフト新設関連（繰延資産）で 179,462,214 円 支出  
 1989年度 第3リフト新設関連（固定資産）で 375,633,787 円 支出  
 1991年度 レストラン新設関連（固定資産）で 172,465,693 円 支出  
 1992年度 ダイナミックコース整備（繰延資産）で 171,800,638 円 支出  
 1992年度 第5リフト更新関連（固定資産）で 303,477,715 円 支出  
 今後、設備現状維持とした場合の参考値 116,493,830 円  
 以上を参考に、購入先の資本的支出としては、無理のない数値として  
 毎年 116,500,000 円を計上した  
 但し、初年度はリニューアル資金として 100,000,000円をプラスした。

## ■収益価格試算表（2年目から市況が多少好転する場合）

Sheet-3

単位（円）

項目	価格時点	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	10年後売却時
収入												
事業売上高		517,098,653	584,054,532	666,413,096	673,461,991	832,610,914	832,610,914	832,610,914	832,610,914	832,610,914	832,610,914	
その他収入		10,604,073	5,893,311	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000	
小計		527,702,726	589,947,843	672,413,096	679,461,991	838,610,914	838,610,914	838,610,914	838,610,914	838,610,914	838,610,914	
支出												
事業原価		100,697,217	106,216,850	108,002,152	120,176,280	124,995,416	124,995,416	124,995,416	124,995,416	124,995,416	124,995,416	
販売費		21,474,531	15,262,593	18,236,936	19,089,593	27,187,963	27,187,963	27,187,963	27,187,963	27,187,963	27,187,963	
人件費		172,185,748	168,473,913	188,499,064	228,821,465	262,835,792	262,835,792	262,835,792	262,835,792	262,835,792	262,835,792	
管理費												
(減価償却費除く)		146,824,945	163,386,201	172,074,329	224,618,294	278,473,431	278,473,431	278,473,431	278,473,431	278,473,431	278,473,431	
資本的支出		216,500,000	116,500,000	116,500,000	116,500,000	116,500,000	116,500,000	116,500,000	116,500,000	116,500,000	116,500,000	
小計		657,682,441	569,839,557	603,312,481	709,205,632	809,992,602	809,992,602	809,992,602	809,992,602	809,992,602	809,992,602	
CF		0	-129,979,715	20,108,286	69,100,615	-29,743,641	28,618,312	28,618,312	28,618,312	28,618,312	28,618,312	18,804,495
CFの現価		0	-113,025,839	15,204,753	45,434,776	-17,006,023	14,228,359	12,372,486	10,758,684	9,355,377	8,135,110	7,074,009
CFの現価の総和		-7,468,308									転売価格	121,350,639
収益価格		¥22,500,000（CFの現価の総和+転売価格の現価）									転売価格の現価	29,996,022
基本利率		15.0%（査定理由） 本物件では貸付リスクが大きいため、借入金割合を30%、自己資金割合を70%とした。										
変動率		1.0% 営業改善により譲渡後に経営黒字が期待できる場合の投資家の自己資金期待利回りを20%とした。										
転売時危険率		2.0% 累積赤字が大きいため税引き前キャッシュフローを税引き前利回りで還元することとし、基本利率を4%×0.3+20%×0.7≒15%と査定。										

（経営状態が大きく悪化する前の資本的支出の平均値）

	固定資産取得価格の推移・・・A		繰延資産取得価格の推移・・・B			A+B
			うち滑降場造成整備費	うち開発研究費	うち改修負担金	
1988年度	887,438	1988年度	191,162,214	0	0	192,049,652
1989年度	381,042,215	1989年度	38,057,762	0	0	419,099,977
1990年度	121,107,897	1990年度	17,597,930	0	0	138,705,827
1991年度	225,507,476	1991年度	21,478,773	1,850,000	0	248,836,249
1992年度	439,449,452	1992年度	217,897,955	0	0	657,347,407
1993年度	122,877,225	1993年度	11,782,524	770,000	0	135,429,749
1994年度	220,539,783	1994年度	7,521,938	233,000	0	228,294,721
1995年度	225,196,874	1995年度	3,951,000	0	0	229,147,874
1996年度	56,082,648	1996年度	13,199,550	0	0	69,282,198
1997年度	47,920,721	1997年度	1,261,575	402,400	0	49,584,696
10年間平均	184,061,173	10年間平均	52,391,122	325,540	0	236,777,835

2004年度予算 資産計上投資額

第3リフト減速・キヤボックスOH	14,500,000
高速リフト圧搾機OH用工具	7,300,000
高速リフト圧搾機OH用クレーン	1,850,000
圧雪車OH3台	4,550,000
その他	0
合計	28,200,000

← 最大限切り詰めた内容

1988年度 第3リフト新設関連（繰延資産）で 179,462,214 円 支出  
 1989年度 第3リフト新設関連（固定資産）で 375,633,787 円 支出  
 1991年度 レストラン新設関連（固定資産）で 172,465,693 円 支出  
 1992年度 タイフミックス整備（繰延資産）で 171,800,638 円 支出  
 1992年度 第5リフト更新関連（固定資産）で 303,477,715 円 支出  
 今後、設備現状維持とした場合の参考値 116,493,830 円  
 以上を参考に、購入先の資本的支出としては、無理のない数値として  
 毎年 116,500,000 円を計上した  
 但し、初年度はリニューアル資金として 100,000,000円をプラスした。

貸借対照表・損益計算書・キャッシュフローの推移

サンプルにつき記載を省略した。

# 固定資産償却明細台帳

(注・・経営悪化のため現在減価償却未計上)

(単位.. 円)

セクション	品物	取得日	耐用年数	経過年数	取得価格	帳簿価格
機具備品No.1	ホテル 2~4階カーペット撤去(修正)	1999/01	3.0	5.0	173,500	8,675
構築物 No.2	200t 貯水槽 導水間	1988/12	10.0	15.0	338,260	18,683
機械装置	200t 貯水槽ポンプ	1988/12	15.0	15.0	1,340,000	199,327
構築物 No.2	50t タンク 水道工事	1986/12	15.0	17.0	4,800,000	534,927
機械装置	AAAコース 中間ポンプ交換工事	2000/11	17.0	3.0	1,313,500	772,185
機具備品No.2	CDカラオケ	1997/12	5.0	6.0	790,000	39,500
機械装置	IHIミニバックホ-IS35J	2000/09	5.0	4.0	3,500,000	371,343
付属設備 No.1	MS型多段渦巻ポンプ	1997/04	15.0	7.0	780,000	259,068
機械装置	YORK スノーガン①	2001/01	10.0	3.0	633,333	268,046
機械装置	YORK スノーガン②	2001/01	10.0	3.0	633,333	268,046
機械装置	YORK スノーガン③	2001/01	10.0	3.0	633,334	268,046
構築物 No.2	アクリル案内板	1987/12	20.0	16.0	255,000	54,654
構築物 No.2	アクリル電飾看板	1984/11	0.0	19.0	187,500	9,375
機械装置	アフタークーラー	1996/01	12.0	8.0	7,719,000	1,745,407
付属設備 No.1	ロッジレストラン アロライザー 等取付	1995/12	15.0	8.0	2,100,361	640,668
付属設備 No.1	ロッジレストラン 給排水設備 一式	1996/02	15.0	8.0	35,427,406	10,926,354
機械装置	ロッジレストラン 厨房機器一式	1995/12	9.0	8.0	10,075,889	1,426,251
機具備品No.2	ロッジレストラン 炊飯器 一式	1996/01	6.0	8.0	1,638,200	89,694
付属設備 No.1	ロッジレストラン 暖房設備 一式	1996/02	15.0	8.0	19,343,246	5,965,755
付属設備 No.1	ロッジレストラン 電気設備 一式	1996/02	15.0	8.0	7,187,661	2,216,787
構築物 No.2	ロッジレストラン 電話外線工事	1995/12	13.0	8.0	433,000	109,904
付属設備 No.1	ロッジレストラン 排水設備 一式	1996/02	15.0	8.0	30,582,525	9,432,118
車両運搬機具	いすゞ エウフタンク	1999/07	0.0	5.0	394,117	19,705
車両運搬機具	いすゞ ファーゴ(中古)	2000/11	0.0	3.0	229,107	11,455
機具備品No.2	インフォメーションアンブ	1996/02	0.0	8.0	1,155,000	57,750
付属設備 No.2	インフォメーション改造工事	1995/02	18.0	9.0	1,902,913	675,024
建物 No.1	インフォメーション上通路防水工事(案)	2002/12	39.0	1.0	303,000	290,253
機具備品No.1	エアコン	2000/07	6.0	4.0	266,990	52,845
機械装置	エハラ 水中ポンプ(400t)	1994/11	17.0	9.0	1,957,500	641,314
付属設備 No.1	エレベーター作動油バックシン交換	2002/10	17.0	2.0	470,000	358,201
機具備品No.2	ガスオープン	1988/02	0.0	16.0	662,800	33,140
機具備品No.2	ガスレンジ	1988/02	0.0	16.0	730,000	36,500
機具備品No.1	カッティングマシーン	1999/05	5.0	5.0	598,000	48,785
構築物 No.1	BBBコース スピーカーケーブル	2000/12	10.0	3.0	896,980	371,921
建物 No.1	BBBコース プレハブ工事	1999/02	7.0	5.0	436,893	68,757
構築物 No.1	BBBコース ケーブル工事	1999/03	10.0	5.0	1,200,000	333,186
構築物 No.1	BBBコース スピーカーケーブル	2001/12	10.0	2.0	546,000	285,128
構築物 No.1	キャンプ場下電源ケーブル埋設	2000/06	15.0	4.0	1,067,961	551,374
構築物 No.1	キュービクル架台	1992/12	36.0	11.0	114,000	64,282
付属設備 No.1	グリーストラップ オーバーホール	1995/05	15.0	9.0	485,437	142,316
構築物 No.1	ゲレンデコース案内板	1999/11	20.0	4.0	828,000	469,705
構築物 No.1	ゲレンデ降雪用配管工事	1994/12	8.0	9.0	2,243,420	204,009
機具備品No.1	コインロッカー 6	1990/12	10.0	13.0	667,200	66,010
建物 No.1	ゴールハウス	1998/01	26.0	6.0	13,440,000	7,384,444
構築物 No.1	ゴールハウス 電源工事	1998/01	15.0	6.0	1,682,620	599,799
機具備品No.2	ゴールハウス 時計・スピーカー	1998/01	5.0	6.0	1,543,120	77,156
機具備品No.2	ゴール用テント	1998/08	0.0	6.0	280,000	14,000
構築物 No.1	ゲレンデ 配水管	1994/11	8.0	9.0	327,670	29,388
機械装置	ゴムクローラ車(キャタダン)	1995/06	0.0	9.0	7,450,000	372,500
機具備品No.2	コンテナラックカート 2	1990/12	10.0	13.0	217,460	21,516
建物 No.1	コンプレッサー室	1986/12	22.0	17.0	192,295	9,052
建物 No.1	コンプレッサー小屋	1984/10	20.0	20.0	255,610	12,780
機具備品No.1	システム書庫	1995/09	15.0	9.0	726,300	217,851
機具備品No.1	ジュータン洗浄機	1999/11	6.0	4.0	570,000	86,746
機具備品No.1	シュレッダー	1997/12	5.0	6.0	333,800	16,690



建物 No.2	スキーセンター	1990/12	24.0	13.0	6,860,000	2,733,386
機具備品No.2	スキーレンタル更衣室看板	1990/12	10.0	13.0	163,518	17,934
構築物 No.2	スキー場看板立替	2001/10	20.0	3.0	428,572	303,151
構築物 No.1	スキー場内排水工事	2000/01	15.0	4.0	1,611,924	780,530
機具備品No.2	スタート用テント	1998/01	0.0	6.0	400,000	20,000
機械装置	スノーガン	1995/12	10.0	8.0	1,250,000	185,274
機械装置	スノーガン	1996/11	12.0	7.0	950,000	230,197
機械装置	スノーガン	1998/12	10.0	5.0	1,500,000	392,103
機械装置	スノーガン	1998/12	10.0	5.0	1,500,000	392,103
機械装置	スノージェットノズル	1996/11	12.0	7.0	801,000	194,093
車両運搬機具	スノーモービル	1999/02	4.0	5.0	890,940	44,547
車両運搬機具	スノーモービル FT410PT	2000/12	4.0	3.0	798,000	89,948
車両運搬機具	スノーモービル PZ480 SP	2000/01	4.0	4.0	639,000	42,806
車両運搬機具	スノーモービル VX600LT	2000/12	4.0	3.0	1,016,500	114,576
車両運搬機具	スバル インプレッサワゴン	1998/09	6.0	6.0	1,426,000	138,454
付属設備 No.1	スプリンガー-S200 一式	1995/05	15.0	9.0	3,870,000	1,134,554
機具備品No.2	セイコー CT400	2000/01	5.0	4.0	2,500,000	167,748
機械装置	ゼノア 自走式草刈機	1998/07	5.0	6.0	3,800,000	190,000
付属設備 No.1	セラミック活水器	1998/07	15.0	6.0	2,080,000	800,369
構築物 No.1	CCCコース U字フリューム	1997/07	15.0	7.0	7,029,126	2,370,364
構築物 No.1	CCCコース U字溝	1996/11	15.0	7.0	2,956,644	956,963
構築物 No.1	CCCコース ロックフェンス	1996/11	10.0	7.0	3,340,000	609,674
機械装置	CCCコース 固定式ガン①	1998/01	10.0	6.0	1,706,568	361,545
機械装置	CCCコース 固定式ガン①	1998/01	10.0	6.0	925,392	196,050
機械装置	CCCコース 固定式ガン②	1998/01	10.0	6.0	1,706,568	361,545
機械装置	CCCコース 固定式ガン②	1998/01	10.0	6.0	925,393	196,050
機械装置	CCCコース 固定式ガン③	1998/01	10.0	6.0	1,706,568	361,545
機械装置	CCCコース 固定式ガン④	1998/01	10.0	6.0	1,706,568	361,545
機械装置	CCCコース 固定式ガン⑤	1998/01	10.0	6.0	1,706,570	361,546
構築物 No.1	CCCコース 放送設備	1993/03	10.0	11.0	290,000	33,892
構築物 No.1	CCCコース 降雪用配管	1999/12	15.0	4.0	3,060,757	1,462,457
構築物 No.1	CCCコース 主配管改造	1999/12	15.0	4.0	2,559,906	1,223,146
機械装置	CCCコース 降雪キュービクル工事	1998/01	17.0	6.0	7,059,424	2,827,377
機械装置	CCCコース 降雪加圧給水ポンプ	1998/01	17.0	6.0	6,814,255	2,729,184
構築物 No.1	CCCコース 降雪機 配管	1998/01	15.0	6.0	24,800,523	8,840,549
建物 No.1	CCCコース 降雪機ポンプ室	1998/01	18.0	6.0	1,321,989	558,685
車両運搬機具	トヨタ カリブ 63-04	2000/04	6.0	4.0	1,988,200	359,408
車両運搬機具	トヨタ ハイエース	1996/01	0.0	8.0	1,957,000	97,850
車両運搬機具	トヨタ ハイラックス	1997/05	5.0	7.0	1,597,404	79,870
車両運搬機具	トヨタ ハイラックスW(中古)	2000/05	0.0	4.0	1,359,223	67,961
構築物 No.1	ナイター照明 改修工事	1986/12	12.0	17.0	2,000,000	223,973
構築物 No.1	ナイター照明 改修工事	1987/12	12.0	16.0	707,000	85,027
構築物 No.1	ナイター照明 工事	1986/01	12.0	18.0	7,000,000	735,141
構築物 No.1	ナスターレース用通信工事	1997/01	10.0	7.0	423,660	78,600
車両運搬機具	ニッサン ローレル 71-20	2000/07	4.0	4.0	1,271,680	112,969
機具備品No.1	ネットワークカメラ	2001/12	5.0	2.0	540,000	148,893
機具備品No.1	ネットワークカメラ リニューアル	2002/12	5.0	1.0	1,401,200	612,279
構築物 No.1	ハーフパイプ 暗渠排水	1999/08	30.0	5.0	628,915	422,922
構築物 No.1	ハーフパイプ スノーエース敷設	1999/08	10.0	5.0	8,458,450	2,577,632
構築物 No.1	ハーフパイプ リップ	2000/08	10.0	4.0	1,250,000	479,757
構築物 No.1	ハーフパイプ 散水設備	1999/08	10.0	5.0	5,390,697	1,642,764
機具備品No.2	ハーベキューテント申請(修正)	1999/08	3.0	5.0	182,349	9,117
機具備品No.2	ハーベキュー用テント 1	1998/07	0.0	6.0	240,000	12,000
機具備品No.2	ハーベキュー用テント 10	1999/08	0.0	5.0	264,296	13,214
機具備品No.2	ハーベキュー用テント 11	1999/08	0.0	5.0	264,296	13,214
機具備品No.2	ハーベキュー用テント 12	1999/08	0.0	5.0	264,296	13,214
機具備品No.2	ハーベキュー用テント 13	1999/08	0.0	5.0	264,296	13,214
機具備品No.2	ハーベキュー用テント 14	1999/08	0.0	5.0	264,296	13,214
機具備品No.2	ハーベキュー用テント 15	1999/08	0.0	5.0	264,292	13,214
機具備品No.2	ハーベキュー用テント 2	1998/07	0.0	6.0	240,000	12,000
機具備品No.2	ハーベキュー用テント 3	1998/07	0.0	6.0	240,000	12,000
機具備品No.2	ハーベキュー用テント 4	1998/07	0.0	6.0	240,000	12,000

機具備品No.2	ハーベキュー用テント 5	1998/07	0.0	6.0	240,000	12,000
機具備品No.2	ハーベキュー用テント 6	1999/08	0.0	5.0	264,296	13,214
機具備品No.2	ハーベキュー用テント 7	1999/08	0.0	5.0	264,296	13,214
機具備品No.2	ハーベキュー用テント 8	1999/08	0.0	5.0	264,296	13,214
機具備品No.2	ハーベキュー用テント 9	1999/08	0.0	5.0	264,296	13,214
機具備品No.1	パソコン PC-98	2000/11	6.0	3.0	265,500	59,333
機具備品No.1	パソコン PC-98	2000/11	6.0	3.0	265,500	59,333
機具備品No.1	パソコン一式	1995/12	6.0	8.0	650,000	32,500
機具備品No.2	パッキングカート 2	1989/01	10.0	15.0	239,040	23,651
機具備品No.2	パッキングカート 4	1990/12	10.0	13.0	478,080	47,301
建物 No.1	パトロール詰所改築工事	2000/01	26.0	4.0	667,116	437,804
機具備品No.1	ピアノ	1970/08	0.0	34.0	197,000	9,850
機械装置	プリンター t4s 中古購入	2001/12	2.0	2.0	516,600	25,830
機械装置	プリンターNo.2 ティラー改造	1998/12	5.0	5.0	2,870,000	207,644
建物 No.1	プレハブ ポンプ小屋	1994/12	18.0	9.0	254,000	88,819
機具備品No.2	プレハブ 冷蔵庫	1990/03	0.0	14.0	550,000	27,500
建物 No.1	フロント事務室窓枠改修工事	1997/07	18.0	7.0	270,043	108,997
建物 No.1	ボイラー室 建築工事	1995/02	18.0	9.0	201,471	74,188
付属設備 No.1	ボイラー室 配電工事	1984/10	15.0	20.0	209,120	12,409
付属設備 No.1	ボイラー室オイルサービスタンク	1999/01	15.0	5.0	1,020,134	423,829
機械装置	ホイローダー-LK500(中古)	1999/01	0.0	5.0	3,000,000	150,000
建物 No.1	ホース格納庫	1997/12	18.0	6.0	2,000,000	835,928
建物 No.1	ホテル アプローチ階段工事	2000/01	47.0	4.0	2,470,023	1,955,809
建物 No.1	ホテル 間仕切工事	2000/01	18.0	4.0	218,929	119,476
機械装置	ホテル 暖房ポンプ交換	2002/11	17.0	1.0	600,000	462,821
機械装置	ホテル 非常用蓄電池設備	2003/01	6.0	1.0	1,900,000	984,335
機具備品No.1	ホテル 表示	1990/12	0.0	13.0	79,167	3,958
建物 No.1	ポンプ小屋	1997/04	20.0	7.0	234,000	101,974
付属設備 No.1	ポンプ制御盤	1997/04	15.0	7.0	550,000	182,678
構築物 No.1	ポンプ送水配管工事	2000/10	15.0	4.0	1,422,740	771,038
機具備品No.2	メニュースタンド 2	1991/05	10.0	13.0	290,000	28,692
機具備品No.2	メニュー用コルトンボックス	1999/01	0.0	5.0	465,000	23,250
機械装置	モロオカ ショベルMS44①	2000/09	5.0	4.0	3,201,456	339,668
機械装置	モロオカ ショベルMS44②	2000/09	5.0	4.0	3,201,457	339,668
機械装置	モロオカMS45コムキャタ交換	1999/07	0.0	5.0	680,100	34,005
車両運搬機具	ヤマハ 4輪バギー	1994/11	0.0	9.0	577,000	28,850
車両運搬機具	ヤマハ スノーモービル	1997/12	0.0	6.0	786,600	39,330
付属設備 No.1	ロッジ カウンター移設	2001/12	10.0	2.0	1,464,000	764,518
機具備品No.2	ロッジ 切文字	1990/12	0.0	13.0	116,862	5,843
機具備品No.2	リフトタイヤ軸 分解組立工具	2001/01	3.0	3.0	408,882	24,427
建物 No.1	リフト改札所	1981/12	22.0	22.0	1,500,000	75,001
機具備品No.2	レーザーカラオケ	1996/08	0.0	8.0	497,459	24,872
機具備品No.2	レストラン カーペット張替	1997/03	0.0	7.0	4,493,204	224,660
機具備品No.2	レストラン カーペット	2001/11	3.0	2.0	948,500	103,875
建物 No.1	レストラン 新築	1996/02	22.0	8.0	78,286,655	35,189,262
付属設備 No.1	レストラン 洗い場電源工事	1994/12	15.0	9.0	221,760	63,136
機具備品No.2	レストラン 標示	1990/12	10.0	13.0	508,444	55,756
構築物 No.1	レッスンケレンテ 手動ハイドラント	1999/12	15.0	4.0	667,801	319,082
構築物 No.1	レッスンケレンテ 降雪配管	2001/10	15.0	3.0	1,500,000	947,444
付属設備 No.2	レンタルハウス 電源三相工事	1999/06	15.0	5.0	690,000	305,654
建物 No.2	レンタルハウス スキー乾燥室	1996/12	7.0	7.0	580,000	51,983
機具備品No.2	レンタルハウス スキー用ブーツラック	1995/01	10.0	9.0	5,596,000	846,127
付属設備 No.2	レンタルハウス 衛生設備	2001/01	15.0	3.0	642,262	362,469
付属設備 No.2	レンタルハウス 給排水設備	2001/01	15.0	3.0	1,035,067	584,153
付属設備 No.2	レンタルハウス 暖房設備	2001/01	15.0	3.0	1,370,221	773,300
付属設備 No.2	レンタルハウス 電気設備	2001/01	15.0	3.0	2,224,881	1,255,636
建物 No.2	レンタルハウス 改修	2001/01	24.0	3.0	7,427,569	5,176,712
付属設備 No.2	レンタルハウス 駐車場料金所 窓口カプセル	1994/11	10.0	9.0	1,183,000	173,579
建物 No.2	レンタルハウス ボイラー室	2001/01	24.0	3.0	3,539,859	2,467,138
車両運搬機具	ロータリー除雪車(中古)	2000/12	0.0	3.0	4,300,000	215,000
機具備品No.1	ロッカー 5	1992/12	8.0	11.0	483,438	28,303
建物 No.1	ロッジ	1967/12	40.0	36.0	31,386,820	4,206,971

建物 No.1	ロッジ 屋根修理工事	1987/10	40.0	17.0	2,800,000	1,050,776
構築物 No.2	ロッジ 看板	1996/02	20.0	8.0	225,000	92,812
構築物 No.1	DDDコース 固定ガン用ホール	1999/12	15.0	4.0	3,806,468	1,818,762
構築物 No.1	DDDコース 降雪用配管	1999/12	15.0	4.0	63,794,967	30,481,758
構築物 No.1	DDDコース 手動ハンドラント	1999/12	15.0	4.0	5,709,703	2,728,144
構築物 No.1	DDDコース 配管申請(修正)	1999/08	15.0	5.0	182,349	98,823
構築物 No.1	DDDコース 降雪能力増強配管	2002/12	15.0	1.0	6,375,000	4,822,497
機具備品No.2	案内センター TVモニター	2000/01	5.0	4.0	741,649	85,038
付属設備 No.2	案内センター 給排水設備	2000/01	15.0	4.0	2,301,076	1,114,232
付属設備 No.2	案内センター 電気設備	2000/01	15.0	4.0	2,427,581	1,175,488
建物 No.1	案内センター 新築工事	2000/01	24.0	4.0	25,433,698	16,095,432
機械装置	案内センター 厨房機器	2000/01	9.0	4.0	352,508	105,069
機具備品No.2	宴会場 歓迎標示	1990/12	0.0	13.0	243,724	12,186
機具備品No.1	屋外 消火栓ホース 他	1981/08	15.0	23.0	124,000	6,282
機械装置	温水洗車機	2000/11	17.0	3.0	550,000	323,336
機具備品No.1	音響システム	2000/12	5.0	3.0	4,250,000	419,101
付属設備 No.2	火災報知器漏電警報器	1983/12	0.0	20.0	350,000	17,500
建物 No.2	貨物車(倉庫)	1990/05	0.0	14.0	159,500	7,975
機具備品No.1	絵画 10号	1977/06	0.0	27.0	70,000	70,000
機具備品No.1	絵画 50号	1981/03	0.0	23.0	200,000	200,000
機具備品No.1	絵画 100号	1980/04	0.0	24.0	370,000	370,000
機具備品No.1	絵画 100号	1978/12	0.0	25.0	200,000	200,000
機具備品No.1	絵画 100号	1977/01	0.0	27.0	100,000	100,000
機具備品No.1	歓迎看板	1990/12	0.0	13.0	296,655	14,832
構築物 No.2	高速道路沿 案内看板①	2000/12	20.0	3.0	1,850,000	1,189,731
構築物 No.2	高速道路沿 案内看板②	2000/12	20.0	3.0	1,850,000	1,189,731
機具備品No.2	気象観測装置	1999/01	5.0	5.0	820,000	66,895
構築物 No.2	擬木看板	1990/12	10.0	13.0	1,100,000	108,828
構築物 No.1	競技用通信工事	1997/01	10.0	7.0	3,503,524	649,978
機械装置	固定式スノーガン R95	1999/01	10.0	5.0	1,726,673	460,710
付属設備 No.2	事務室 パーティション敷設	1995/01	10.0	9.0	1,125,000	168,425
建物 No.1	更衣室 階段取付	1997/01	24.0	7.0	427,184	211,219
建物 No.1	更衣室 新築工事	1991/12	24.0	12.0	7,300,000	2,933,487
付属設備 No.2	更衣室 便所コンピューター	1997/01	15.0	7.0	300,000	98,118
機具備品No.1	硬貨包装機	1997/02	0.0	7.0	1,299,000	64,950
機械装置	EEEコース 固定式ガン①	1999/01	10.0	5.0	1,035,267	276,231
機械装置	EEEコース 固定式ガン②	1999/01	10.0	5.0	1,035,267	276,231
構築物 No.1	EEEコース 降雪配管工事	1999/01	15.0	5.0	5,230,824	2,173,209
機械装置	降雪機 YSA 661 S	1995/05	0.0	9.0	388,000	19,400
構築物 No.1	降雪機 エア・ハイブ	1986/12	15.0	17.0	1,000,000	111,446
構築物 No.1	降雪機 エア・ハイブ 他	1986/12	15.0	17.0	242,783	27,060
構築物 No.1	降雪機 エア・排水ポンプ	1986/12	15.0	17.0	573,662	63,934
構築物 No.1	降雪機 エア・配管工事	1986/11	15.0	17.0	319,381	35,204
構築物 No.1	降雪機 エア・配管工事	1986/12	15.0	17.0	490,463	54,662
構築物 No.1	降雪機 キュービカル 架台	1998/12	40.0	5.0	451,000	322,318
構築物 No.1	降雪機 ホックス取替	1990/05	12.0	14.0	801,750	97,905
構築物 No.1	降雪機 ホンプタンク	1983/12	0.0	20.0	2,610,000	130,500
構築物 No.1	降雪機 ホンプ貯水槽	1983/12	50.0	20.0	5,247,620	2,373,802
構築物 No.1	降雪機 移動	1990/05	15.0	14.0	1,084,370	179,862
構築物 No.1	降雪機 給水栓	1996/01	15.0	8.0	261,000	80,057
構築物 No.1	降雪機 取水設備	1983/12	30.0	20.0	3,000,000	798,045
構築物 No.1	降雪機 電気ボックス	1987/06	25.0	17.0	827,090	232,415
構築物 No.1	降雪機 電源工事	1992/02	15.0	12.0	560,000	129,392
構築物 No.1	降雪機 燃料タンク	1999/01	15.0	5.0	10,606,702	4,406,681
構築物 No.1	降雪機 配管工事	1996/12	15.0	7.0	16,408,810	5,338,760
構築物 No.1	降雪機 配水管施設一式	1994/12	8.0	9.0	35,310,000	3,210,948
構築物 No.1	降雪機 敷設	1990/03	15.0	14.0	2,350,640	420,600
建物 No.1	降雪機 揚水ポンプ小屋	1983/12	40.0	20.0	145,827	53,287
構築物 No.1	降雪機 揚水ポンプ配管	1983/12	15.0	20.0	1,612,737	116,988
機械装置	降雪機 水中ポンプ移動工事	2000/11	17.0	3.0	888,080	522,088
機械装置	降雪機用 エアコンプレッサー	1984/11	17.0	19.0	3,000,000	285,617
機械装置	降雪機用 エアコンプレッサー	1986/12	17.0	17.0	3,000,000	430,256

機械装置	降雪機用 エアコンプレッサー	1999/01	17.0	5.0	34,286,783	10,514,144
機械装置	降雪機用 キュービカル工事	1998/12	17.0	5.0	3,881,000	1,169,294
機械装置	降雪機用 コンプレッサー	1998/01	17.0	6.0	27,200,000	7,281,659
構築物 No.1	降雪機用 配管設備	1995/12	8.0	8.0	1,412,692	149,680
構築物 No.1	降雪主配管 貯水池～ダイナミ	1999/01	15.0	5.0	21,520,069	8,940,767
構築物 No.1	降雪配管設備修復工事	2002/12	15.0	1.0	1,880,000	1,422,165
建物 No.1	降雪用 給水設備小屋	1999/01	18.0	5.0	3,946,680	1,895,339
機械装置	降雪用 送水ポンプ設備	1999/01	17.0	5.0	8,756,696	2,685,269
機械装置	降雪用 燃料ポンプ	1999/01	17.0	5.0	9,188,365	2,817,641
構築物 No.1	降雪用 配管敷設一式	1994/12	8.0	9.0	16,000,000	1,454,976
機械装置	降雪用 キュービカル改造	2001/11	17.0	2.0	1,333,334	897,874
機械装置	降雪用 コンプレッサー1号機改造	2001/10	17.0	3.0	4,000,000	2,661,355
構築物 No.1	降雪用 既設配管ドレン他改修	1999/01	15.0	5.0	616,668	256,204
構築物 No.1	降雪用 空気主配管ドレン管	1999/12	15.0	4.0	634,411	303,129
構築物 No.1	降雪用 空気主配管補強	1999/12	15.0	4.0	7,212,257	3,446,078
機械装置	降雪用 送水ポンプ	2001/11	17.0	2.0	6,800,000	4,579,152
機械装置	降雪用 多段タービンプースターポンプ	2002/12	17.0	1.0	6,325,000	4,937,344
建物 No.1	ホテル 新館本体	1990/12	47.0	13.0	429,754,000	270,344,638
機械装置	高速リフト油圧・電気点検整備	2002/12	12.0	1.0	2,970,000	2,092,922
構築物 No.1	索道詰所前横断側溝	2001/10	15.0	3.0	310,000	195,806
車両運搬機具	三菱ふそう 小型バス 19-18	1997/12	6.0	6.0	12,000,000	878,738
車両運搬機具	三菱ふそう 小型バス 24-30	1999/12	6.0	4.0	14,000,000	2,210,606
機械装置	自家用給油施設 計量機	2002/06	17.0	2.0	1,165,240	850,470
構築物 No.1	自家用給油施設 諸工事	2002/06	15.0	2.0	1,218,820	854,783
構築物 No.1	自家用給油施設 地下槽工事	2002/06	30.0	2.0	925,760	774,237
機械装置	自家用給油施設 貯油タンク	2002/06	17.0	2.0	890,180	649,713
構築物 No.1	自家用給油施設 電気工事	2002/06	15.0	2.0	300,000	210,397
構築物 No.1	自家用給油施設 排水工事	2002/06	15.0	2.0	746,180	523,311
構築物 No.1	自家用給油施設 擁壁工事	2002/06	15.0	2.0	1,501,820	1,053,256
機械装置	自走式スノーマシンKB911①	1998/11	5.0	5.0	13,000,000	650,000
機械装置	自走式スノーマシンKB911②	1999/12	5.0	4.0	13,000,000	808,912
機械装置	自走式スノーマシンKB911Z	2001/11	5.0	2.0	13,000,000	3,425,281
付属設備 No.1	自動給水ポンプ設備	1997/05	15.0	7.0	647,510	216,162
機械装置	受水槽ポンプ工事	1995/12	8.0	8.0	669,820	60,912
構築物 No.1	FFFコース ゲレンデ グリンブロック	1999/06	10.0	5.0	10,587,375	3,111,689
構築物 No.1	FFFコース ゲレンデ 排水路U字溝	1999/05	15.0	5.0	422,030	184,628
構築物 No.1	FFFコース ゲレンデ 排水路U字溝	1999/07	15.0	5.0	1,148,500	515,077
構築物 No.1	FFFコース ゲレンデ 照明改修工事	2002/12	12.0	1.0	550,000	387,579
建物 No.2	従業員宿舎 改装工事	1991/02	24.0	13.0	2,900,000	1,155,517
付属設備 No.2	従業員宿舎 暖房工事	1996/01	15.0	8.0	565,500	173,454
構築物 No.2	従業員宿舎 擁壁工事	1987/09	15.0	17.0	103,500	12,790
付属設備 No.2	重機格納庫 給排水設備	2000/01	15.0	4.0	219,394	106,236
建物 No.1	重機格納庫 新築工事	2000/01	35.0	4.0	20,692,916	15,120,359
付属設備 No.2	重機格納庫 電気設備	2000/01	15.0	4.0	810,657	392,540
構築物 No.1	重機格納庫前舗装工事	2001/10	10.0	3.0	820,000	410,465
構築物 No.1	出口 ブロック石積工事	1978/12	15.0	25.0	1,380,000	159,279
構築物 No.2	焼却炉設置	1995/10	7.0	9.0	277,000	21,734
構築物 No.1	照明改修申請料(修正)	1999/06	15.0	5.0	182,348	94,145
建物 No.2	職員用住宅	1995/08	24.0	9.0	3,000,000	1,404,541
付属設備 No.1	新館 エレベーター工事	1990/12	17.0	13.0	18,504,000	4,985,528
付属設備 No.1	新館 キュービカルバス工事	1999/11	15.0	4.0	580,850	273,812
付属設備 No.1	新館 ユニットバス工事	1990/12	15.0	13.0	4,359,000	981,520
付属設備 No.1	新館 外構工事	1990/12	15.0	13.0	2,105,000	473,986
付属設備 No.2	新館 給水設備	1990/12	15.0	13.0	52,300,000	11,776,394
付属設備 No.1	新館 給水配管工事	1997/04	15.0	7.0	650,000	215,891
付属設備 No.1	新館 給排水設備工事	1990/12	15.0	13.0	45,277,000	10,195,024
付属設備 No.1	新館 空調設備工事	1990/12	15.0	13.0	82,102,000	18,486,909
付属設備 No.1	新館 玄関改装床工事	1994/06	0.0	10.0	256,311	12,815
付属設備 No.1	新館 浄化槽ブロワ-取付工事	1999/12	15.0	4.0	646,000	308,666
付属設備 No.1	新館 浄化槽工事	1990/12	15.0	13.0	19,305,000	4,346,910
付属設備 No.1	新館 暖房設備工事	1990/12	15.0	13.0	2,046,000	460,701
付属設備 No.1	新館 電気設備工事	1990/12	15.0	13.0	56,868,000	12,804,971

機具備品No.1	新館 2階通路カーペット	1999/01	0.0	5.0	626,574	31,328
機具備品No.1	新館 3～4階客室カーペット	2000/01	3.0	4.0	1,208,444	60,422
機具備品No.1	新館 3～4階通路カーペット	1999/01	0.0	5.0	622,634	31,131
建物 No.1	新館トイレ 間仕切り化粧板取付	1997/12	47.0	6.0	1,246,154	890,566
建物 No.1	新館 リネン室 改修工事	1991/04	24.0	13.0	241,000	96,031
構築物 No.2	水源ポリパイプ配管 300m	1989/02	10.0	15.0	324,450	18,520
構築物 No.2	水源ポンプ配管 500m	1989/02	10.0	15.0	546,300	31,180
機械装置	水中ポンプ(ロッシェレストラン)	1995/12	17.0	8.0	1,355,400	473,677
機具備品No.2	製氷機	1988/09	0.0	16.0	315,000	15,750
機具備品No.1	全館案内板 フロント	1990/12	10.0	13.0	406,517	40,221
機具備品No.1	全館案内板 ホール柱	1990/12	10.0	13.0	448,517	44,375
建物 No.2	倉庫(第1別館上)	1990/12	18.0	13.0	4,000,000	1,164,814
付属設備 No.1	多段渦巻ポンプ	1997/02	15.0	7.0	780,000	256,426
機具備品No.1	耐火金庫	1990/12	20.0	13.0	178,000	58,562
付属設備 No.2	貸スキー室 内装改良工事	1995/01	10.0	9.0	4,729,709	708,086
機具備品No.2	大型蒸し器	2002/11	7.0	1.0	515,000	275,629
車両運搬機具	大原 SRH運搬車OH	1995/02	7.0	9.0	360,000	23,805
機械装置	大原SRH1133(中古)	2000/02	0.0	4.0	200,000	10,000
機具備品No.1	大広間 標示	1990/12	0.0	13.0	248,724	12,436
建物 No.1	大浴場 新設	1983/12	40.0	20.0	15,500,000	5,663,408
付属設備 No.1	大浴場 シャワー取付	1995/01	15.0	9.0	1,074,697	307,783
付属設備 No.1	大浴場 タイル張替	1996/12	15.0	7.0	467,087	151,973
付属設備 No.1	大浴場 タイル張替 2	1997/05	15.0	7.0	617,476	206,136
建物 No.1	大浴場 ルーフデッキ工事(案)	2002/08	34.0	2.0	930,000	873,384
建物 No.1	大浴場 改修工事	1995/12	13.0	8.0	2,377,897	603,549
付属設備 No.1	大浴場 給排水設備改修工事	1995/06	15.0	9.0	3,730,000	1,099,830
付属設備 No.1	大浴場 給排水設備改良工事	1995/12	15.0	8.0	570,576	174,043
機具備品No.2	第1～2リフト 風速計	1996/02	0.0	8.0	444,000	22,200
車両運搬機具	第1ヘアリフト 搬器	1990/12	0.0	13.0	6,411,748	320,587
構築物 No.1	第1ヘアリフト 支柱	1990/12	40.0	13.0	9,143,503	5,050,952
構築物 No.1	第1リフト ナイター照明	1988/12	12.0	15.0	9,620,000	1,240,824
建物 No.1	第1リフト 運転室差額	1991/01	12.0	13.0	350,000	52,487
機械装置	第1リフト 鋼索交換工事	1998/12	0.0	5.0	1,980,899	99,044
機械装置	第1リフト 設備	1990/12	12.0	13.0	45,386,485	6,056,043
構築物 No.1	第1リフト横 照明器具	1999/06	15.0	5.0	2,937,870	1,301,399
構築物 No.1	第1リフト横 照明柱	1999/06	40.0	5.0	415,303	305,524
構築物 No.1	第1リフト横 照明塔増設	1990/12	12.0	13.0	1,479,000	221,788
機械装置	第1リフト支索切詰	2002/12	3.0	1.0	200,000	51,350
建物 No.1	第1ロッシェ 窓取替工事	1986/11	18.0	17.0	5,000,000	794,890
付属設備 No.1	第1別館 フロント内倉庫	1995/01	10.0	9.0	309,655	46,360
付属設備 No.1	第1別館 改修ガス設備工事	1990/12	15.0	13.0	272,000	61,251
付属設備 No.1	第1別館 改修衛生設備工事	1990/12	15.0	13.0	371,000	83,541
付属設備 No.1	第1別館 改修給水設備工事	1990/12	15.0	13.0	308,000	69,355
付属設備 No.1	第1別館 改修暖房工事	1990/12	15.0	13.0	9,539,000	2,147,900
付属設備 No.1	第1別館 改修電気設備工事	1990/12	15.0	13.0	8,026,000	1,807,217
付属設備 No.1	第1別館 改修排水設備工事	1990/12	15.0	13.0	153,000	34,453
付属設備 No.1	第1別館 給湯暖房設備工事	1999/01	15.0	5.0	4,004,352	1,663,657
建物 No.1	第1別館(事務所・乾燥室)改修	1999/01	33.0	5.0	6,626,306	4,449,276
建物 No.1	第1別館 改修工事	1990/12	33.0	13.0	37,961,000	19,623,286
建物 No.1	第1別館 事務所窓格子(修正)	1999/01	45.0	5.0	155,000	121,516
車両運搬機具	第2ABヘアリフト 搬器	1990/12	0.0	13.0	14,796,443	739,822
構築物 No.1	第2ABヘアリフト 支柱	1990/12	40.0	13.0	20,163,685	11,138,594
機械装置	第2ABリフト 鋼索交換工事	1998/12	0.0	5.0	2,519,101	125,955
機械装置	第2ABリフト 設備	1990/12	12.0	13.0	84,238,368	10,930,903
建物 No.1	第2リフト 運転室差額	1991/01	12.0	13.0	70,000	10,499
機械装置	第2リフト 鋼索	1995/10	0.0	9.0	1,960,000	98,000
機械装置	第2リフト 電源工事	1993/12	12.0	10.0	2,300,000	426,965
構築物 No.1	第2リフト横 照明補強器具	1999/06	15.0	5.0	3,067,108	1,358,649
構築物 No.1	第2リフト横 照明補強柱	1999/06	40.0	5.0	332,892	244,898
構築物 No.1	第2リフト乗場 照明器具	1999/06	15.0	5.0	5,201,694	2,304,213
構築物 No.1	第2リフト乗場 照明柱	1999/06	40.0	5.0	1,298,306	955,113
機械装置	第3リフト コムライナー交換工事	2002/12	12.0	1.0	2,330,000	1,641,923

車両運搬機具	第3リフト 握索機OH 20台	1998/10	5.0	6.0	5,280,000	430,731
車両運搬機具	第3リフト 握索機OH 75台	1999/08	5.0	5.0	15,170,753	1,237,594
機械装置	第3リフト 握索機ローラ塗油装置	1999/08	12.0	5.0	221,774	82,288
機械装置	第3リフト 安全対策カバー	1998/01	12.0	6.0	612,493	167,774
建物 No.1	第3リフト 雨樋取付	1997/01	20.0	7.0	251,000	108,122
建物 No.1	第3リフト 詰所	1993/12	20.0	10.0	10,679,612	3,804,053
機械装置	第3リフト 鋼索鋼管	2001/01	3.0	3.0	7,800,000	465,962
構築物 No.1	第3リフト 照明改修工事	1999/06	15.0	5.0	723,413	320,455
構築物 No.1	第3リフト 照明器具(修正)	1999/06	15.0	5.0	1,276,587	691,832
機械装置	第3リフト 新設一式	1993/12	12.0	10.0	335,713,874	62,548,394
建物 No.1	第3リフト 停留場	1997/01	20.0	7.0	70,533,260	30,382,774
車両運搬機具	第3リフト 搬器(除 握索機)	1993/12	0.0	10.0	9,240,000	462,000
車両運搬機具	第3リフト 搬器(増強用)	1999/12	5.0	4.0	11,716,322	1,286,261
機械装置	第3リフト 輸送力増強機械改造	1998/12	12.0	5.0	956,119	378,331
機械装置	第3リフト 輸送力増強制御盤 他	1998/12	12.0	5.0	3,798,278	1,502,953
付属設備 No.2	第3リフト 改札所競技電源工事	1994/12	15.0	9.0	218,440	62,191
構築物 No.1	第3高速ヘアリフト 支柱	1993/12	40.0	10.0	20,000,301	12,208,666
機械装置	第3高速リフト ギヤボックスOH	2001/10	12.0	3.0	3,000,000	1,684,547
構築物 No.1	第3除雪機 電源工事	1992/02	15.0	12.0	381,000	88,034
機具備品No.2	第4～6リフト 風速計	1992/02	0.0	12.0	499,249	24,962
構築物 No.1	第4ヘアリフト 支柱	1990/12	40.0	13.0	5,925,454	3,273,275
機械装置	第4リフト キュービクル	1995/11	17.0	8.0	2,000,000	655,239
機械装置	第4リフト 鋼索	1990/12	0.0	13.0	1,863,050	93,152
機械装置	第4リフト 設備	1990/12	12.0	13.0	41,248,508	5,352,473
建物 No.1	第5リフト パンチ小屋	1997/01	7.0	7.0	675,505	61,265
機械装置	第5リフト 安全対策カバー	1998/01	12.0	6.0	612,493	167,774
機械装置	第5リフト 鋼索	1997/01	0.0	7.0	4,093,323	204,666
機械装置	第5リフト 設備	1997/01	12.0	7.0	181,966,802	30,481,676
機械装置	第5リフト 電気設備	1997/01	12.0	7.0	31,556,220	5,286,057
車両運搬機具	第5リフト 搬器	1997/01	5.0	7.0	34,501,977	1,725,098
車両運搬機具	第5リフト 搬器(増強用)	1999/12	5.0	4.0	10,184,232	1,118,062
機械装置	第5リフト 輸送力増強機械改造	1999/12	12.0	4.0	1,069,011	423,002
機械装置	第5リフト 輸送力増強制御盤 他	1999/12	12.0	4.0	4,246,757	1,680,414
車両運搬機具	第5リフト 握索機オーバーホール	2002/12	5.0	1.0	1,700,000	742,845
構築物 No.1	第5高速ヘアリフト 支柱	1997/01	40.0	7.0	49,597,329	32,573,995
構築物 No.1	第5高速ヘアリフト 電気引込柱	1997/01	10.0	7.0	1,086,559	201,581
構築物 No.1	第6ヘアリフト 支柱	1986/12	40.0	17.0	30,555,300	13,430,466
機械装置	第6リフト 減速機OH改造	1995/02	12.0	9.0	3,215,910	669,896
機械装置	第6リフト 鋼索入替工事	1995/01	0.0	9.0	2,593,000	129,650
機械装置	第6リフト 降雪機 電源工事	1995/12	15.0	8.0	495,660	141,114
機械装置	第6リフト 制御機改造	1995/02	12.0	9.0	943,145	196,465
機械装置	第6リフト 制止ガイド取付	1997/12	12.0	6.0	435,000	117,155
機械装置	第6リフト 設備	1987/02	12.0	17.0	42,782,700	2,793,423
機械装置	第6リフト 電気工事	1986/12	12.0	17.0	4,550,000	290,507
機械装置	第6リフト 電源工事	1993/12	12.0	10.0	1,940,000	360,137
機具備品No.2	第6リフト 風速計	1997/02	5.0	7.0	222,000	11,100
建物 No.1	第7リフト 運転室差額	1991/01	12.0	13.0	350,000	52,487
車両運搬機具	第7リフト 搬器	1990/12	0.0	13.0	7,767,988	388,399
機具備品No.2	脱索検査アンブ	1999/03	5.0	5.0	210,000	17,133
付属設備 No.1	暖房ボイラー 取付工事	1995/12	15.0	8.0	1,168,529	356,434
構築物 No.2	地下貯油タンク	1985/12	15.0	18.0	4,500,000	434,130
付属設備 No.1	地下燃料タンク油面計	1999/04	15.0	5.0	215,000	92,876
車両運搬機具	中古 2t ダンプ購入	2002/12	2.3	1.0	866,667	117,763
車両運搬機具	中古スノーモービル スキーズー	2001/12	3.0	2.0	750,000	89,348
建物 No.2	中古建物	2002/01	11.0	2.0	4,285,715	2,419,240
構築物 No.2	駐車場 照明器具	1999/06	15.0	5.0	1,292,744	566,642
構築物 No.2	駐車場 照明柱	1999/06	40.0	5.0	260,429	191,590
構築物 No.2	駐車場 照明塔	1985/12	30.0	18.0	596,000	184,524
構築物 No.2	駐車場 側溝工事	1987/12	15.0	16.0	636,450	82,103
建物 No.2	駐車場 管理室基礎工事	1972/12	22.0	31.0	419,436	26,135
建物 No.2	駐車場 小屋	1986/12	0.0	17.0	319,720	15,048
構築物 No.1	貯水槽 ネットフェンス工事	2000/12	10.0	3.0	663,956	275,301

構築物 No.1	貯水槽 工事	2000/12	15.0	3.0	4,436,044	2,470,372
構築物 No.1	貯水槽 漏水防止工事	2002/12	50.0	1.0	810,000	744,542
構築物 No.1	貯水池 外構工事	1996/08	10.0	8.0	1,123,000	199,963
構築物 No.1	貯水池 設置工事	1995/12	50.0	8.0	12,000,000	8,406,815
機械装置	田面バケット	2000/04	5.0	4.0	240,000	31,029
機具備品No.2	電気式ホットワゴン	2002/11	7.0	1.0	471,800	252,508
構築物 No.2	電話 自動線路設備	1978/07	30.0	26.0	513,000	90,532
機具備品No.1	電話 交換機 一式	1997/07	6.0	7.0	10,052,360	502,618
機具備品No.1	電話 自動応答装置	1996/11	6.0	7.0	1,500,000	75,000
建物 No.1	渡り廊下屋根改修工事	2002/12	20.0	1.0	528,800	485,030
機械装置	凍結防止剤散布機	2000/11	17.0	3.0	3,600,000	1,397,811
機具備品No.1	日本画	1985/11	0.0	18.0	120,000	120,000
機具備品No.1	日本画	1976/12	0.0	27.0	70,000	70,000
構築物 No.1	排水溝掘削敷設	1978/12	15.0	25.0	213,200	24,611
付属設備 No.1	売店 改装工事	1993/12	10.0	10.0	283,961	37,006
付属設備 No.1	売店 改装工事カーペット張替	1993/12	0.0	10.0	628,156	31,407
機具備品No.1	売店 商品陳列棚	1995/01	8.0	9.0	2,966,000	273,429
付属設備 No.1	売店 内装改良工事	1995/01	10.0	9.0	4,656,000	697,051
機具備品No.1	売店 (イペール)カーペット張替	2001/06	3.0	3.0	320,000	56,586
機具備品No.1	剥製(熊)	1985/04	0.0	19.0	180,000	9,000
機具備品No.2	風速計	1990/03	0.0	14.0	150,000	7,500
機具備品No.1	別館 クロス張替	1997/01	0.0	7.0	544,310	27,215
機具備品No.1	別館 ロビーカーペット張替	1997/03	0.0	7.0	1,733,010	86,650
機具備品No.1	別館 ロビータイルカーペット張替	2000/01	3.0	4.0	1,067,550	53,377
機具備品No.1	別館 自動火災報知器	1982/12	0.0	21.0	980,000	49,000
付属設備 No.2	別館 新設誘導灯設備	1991/11	0.0	12.0	600,000	30,000
建物 No.1	別館 (鉄骨2階建)新築	1982/12	33.0	21.0	63,726,770	18,001,723
付属設備 No.1	別館 ホイラー入替工事	2003/05	15.0	1.0	1,080,000	871,814
建物 No.1	別館 床ジュエタン張替	1994/11	3.0	9.0	580,000	29,000
構築物 No.2	舗装工事(ホテル前道路脇)	2001/07	10.0	3.0	818,000	388,377
構築物 No.1	放送設備改修スピーカー工事	1996/12	10.0	7.0	690,867	127,141
構築物 No.1	放送設備改修工事	1996/12	10.0	7.0	1,339,258	246,464
付属設備 No.1	防火ドア火災報知器	1987/10	0.0	17.0	1,500,000	75,000
機具備品No.2	滅菌機 50t	1990/02	0.0	14.0	130,000	6,500
機具備品No.2	滅菌機 クリーンK型	1988/11	0.0	15.0	200,000	10,000
建物 No.1	木造 第2倉庫	1981/12	23.0	22.0	2,006,875	100,344
建物 No.2	木造従業員宿舎 1階	1986/12	40.0	17.0	12,150,000	5,340,488
建物 No.2	木造従業員宿舎 2階	1986/12	24.0	17.0	24,000,000	6,061,266
建物 No.2	木造従業員宿舎 工事管理費	1987/09	24.0	17.0	150,000	40,606
構築物 No.2	野立看板	1989/02	20.0	15.0	300,000	73,199
構築物 No.2	野立看板	1996/02	20.0	8.0	298,000	122,902
構築物 No.2	野立看板	1988/01	20.0	16.0	296,000	64,004
機械装置	油圧ショベル車(ユンボ)	1994/12	0.0	9.0	9,900,000	495,000
機具備品No.1	油絵 100号	1975/01	0.0	29.0	172,000	172,000
機具備品No.1	誘導標示 ホテル	1990/12	0.0	13.0	119,862	5,993
機具備品No.1	誘導標示 別館	1990/12	0.0	13.0	106,862	5,343
構築物 No.1	揚水管 中間継手	1997/12	15.0	6.0	629,127	221,295
建物 No.1	浴室渡り廊下 別館ロッジ	1983/12	22.0	20.0	1,700,000	288,577
機械装置	浴場バーナー等設備改良	1995/01	9.0	9.0	3,011,870	363,520
機具備品No.2	冷凍冷蔵庫	2002/11	7.0	1.0	410,000	219,433
	合計				3,218,690,238	1,035,658,448

## スキー場の処分手例の主なもの

2005年5月1日

### <評価上参考とした事例>

#### 1. 有償譲渡の事例

[Redacted text block]

#### 2. 無償譲渡の事例

[Redacted text block]

#### 3. その他の参考事例

[Redacted text block]

・なお、上記のほか、次ページ以降掲載のとおり、譲渡先模索中のスキー場が数多く存在する。



## スキー場 経営状態 事例集

	情報源
01 北海道 アルファリゾート・トマム(自己破産)	日経 日経BP 日経BP
02 北海道 ウラウスリゾート開発(計画頓挫 特別清算 売却)	毎日
03 北海道 エイペックス(洞爺)(破産 営業譲渡)	毎日 日経 日経産業 日経産業 北海道新聞
04 北海道 サホリゾート(営業譲渡)	北海道新聞 読売 北海道新聞
05 北海道 横津岳スキー場(閉鎖 譲渡)	日経 読売 読売
06 北海道 石狩平原スキー場(経営会社 自己破産)	北海道新聞
07 北海道 中山峠高原スキー場(運営会社の親会社が民事再生法申請)	北海道新聞 北海道新聞 北海道新聞 読売 毎日
08 北海道 東川町スキー場(営業譲渡 設備無償借受)	毎日
09 北海道 赤字の歌登町営スキー場 営業期間短縮で継続	北海道 北海道
10 北海道 ニセコモイワ国際スキー場 競売→落札→再開	読売
11 北海道 ティネオリンピアスキー場 加森観光が買収へ	読売
12 北海道 旭川市営 伊ノ沢 嵐山 旭山スキー場 赤字休止も	北海道
13 北海道 カムイスキーリンクス 市へ施設無償譲渡 市が他社へ無償貸付	

	毎日
14 北海道 町営中小屋スキー場 営業休止へ北海道 町営中小屋スキー場 営業休止へ	北海道
15 北海道 町営天北スキー場 来期から閉鎖	北海道
16 北海道 ニセコひらふ花園スキー場譲渡 オーストラリア人向けのリゾート整備	北海道
17 青森県 弘前リゾート(開発破綻・債権放棄・清算検討)	読売
18 青森県 大鰐温泉スキー場(損失補償 民事再生法不可能)	毎日 毎日 朝日 日経 毎日 読売 毎日 毎日 毎日 日経BP 日経 読売 読売 .doc 日経 毎日 読売 日経
19 岩手県 セントメースキー場(町 有償譲受)	読売 日経 読売 朝日
20 岩手県 鉛温泉スキー場(市が無償譲受 敷地は国有林)	毎日 毎日
21 岩手県 岩手高原スキー場(営業休止)(国有林)	毎日
22 岩手県 八幡平スキー場(JR撤退 県 譲受に難色)	日産 朝日 日経 毎日 朝日 日経
23 岩手 安比高原スキー場 リクルート子会社 株式を加森観光に譲渡	時事

	北海道
24 岩手 夏油高原スキー場 3セク負債処理 加森観光の運営へ	読売
25 岩手 いこいの村岩手 債権放棄	朝日
26 宮城県 オニコウベスキー場(町 無償譲受)	日経 三菱地所 日経産業 日経 日経流通 朝日 日経 読売 毎日 河北新報
27 岩手県 白石スキー場(敷地国有林 市 無償譲受 NPO運営)	朝日 朝日 毎日 朝日 朝日 日経 読売 毎日 毎日 毎日 毎日 読売
28 宮城県 鳴子スキー場(県 譲受到難色)	日経 日経 河北新報
29 宮城 仙台ハイランドスキー場 今季営業せず 閉鎖へ	河北新報
30 宮城 七ヶ宿スキー場 4月に経営移管 住民が運営	河北新報
31 秋田県 田沢湖高原リフト(県などが無利子支援)	日経 朝日
32 秋田 赤字の市営湯沢スキー場 水曜定休で経費削減へ	読売
33 山形県 栗子スキー場(来冬2002-03の営業 微妙?)	河北新報 朝日 山形

34 山形県 黒伏高原スノーパーク(三セク 経営委託へ)	日経 読売 日経 東京読売
35 山形県 三セク Asahi自然観(赤字)	読売
36 山形県 天元台スキー場(経営会社が撤退表明)	朝日 読売 日経 日経流通 読売 河北新報 河北新報
37 山形県 天童高原スキー場(市営 市が赤字補填)	朝日
38 福島県 グリーンピア二本松(富士急運営から撤退へ)	毎日
39 福島県 会津地方のスキー場(東武が撤退)	読売 日経 毎日 読売 河北新報 河北新報 毎日 毎日
40 福島県 台鞍山スキー場(東武が撤退)	朝日
41 福島県 磐梯リゾート(大手撤退 不良債権化)	毎日 毎日 毎日 読売 毎日 毎日 毎日 毎日 読売 河北新報 毎日 河北新報 日経
42 福島 箕輪スキー場のSTTコーポレーション 民事再生開始申立	共同
43 福島 羽鳥湖スキー場 経営会社 自己破産	読売

44 栃木県 3セク ハンターマウンテン塩原(赤字・債務超過)	東京読売
45 栃木県 鶏頂山スキー場(不渡り2回 破産)	朝日 日経 朝日 毎日 読売
46 栃木県 日光市営 霧降高原スキー場(赤字 閉鎖検討中)	朝日 朝日 朝日 読売 朝日
47 群馬県 3セク パルコール孺恋スキーリゾート(債務超過)	東京読売
48 群馬県 サエラスキーリゾート(親会社和議 地代未払 村が運営受託)	読売 朝日 朝日 朝日 読売 読売 読売 読売 読売 読売
49 群馬県 川場スキー場(三セク民事再生法 村が株式を低額で取得)	日経 朝日 朝日 読売 読売 読売 読売 毎日 読売 読売 日経B 日経
50 群馬県 草津ツスカ山スキー場(競売)	読売 読売 朝日 毎日 読売 朝日 読売 地裁情報

51 群馬県 武尊オリンピックスキー場(赤字 売却先模索)	読売
52 群馬県 宝台第二スキー場(県営 三セクに売却)	読売
53 新潟県 GALA湯沢スキー場(JR債権放棄 再度JR・3町村で新会社)	日経産業 日経産業 読売 日経
54 新潟県 キュービットパレスキー場(三セク破綻 町が無償譲受)	読売 日経 読売 読売 読売
55 新潟県 マウンテンパーク津波スキー場(清算 町営に)	読売
56 新潟県 光ヶ原高原牧場(経営委託)	日経
57 新潟県 守門村スキー場(三セク民事再生法申請)	読売
58 新潟県 二居スキー場(営業休止 譲渡先模索)	読売
59 新潟 コクトスキー場撤退検討 新潟にも多大な影響	読売
60 富山県 粟巣野スキー場(経営難・NPOが参画)	朝日 朝日
61 富山 県営らいちょうパレスキー場 経営検討委員会開催	読売
62 富山 夢の平スキー場の宿泊施設 営業再開	朝日
63 山梨 大泉・清里スキー場 日本ケーブルの関連会社へ譲渡	工業
64 長野県 戸隠スキー場(村営 赤字)	信濃毎日 信濃毎日 信濃毎日
65 長野県 小海リゾートシティ・リエックス(町が撤退)	読売 日経流通
66 長野県 小規模スキー場(経営不振が多い)	

	信濃毎日 信濃毎日
67 長野県 白馬ハイランドスキー場(ホテル廃業 営業継続)	信濃毎日 信濃毎日
68 長野県 飯綱リゾート(3セク 債務超過)	信濃毎日 信濃毎日
69 長野県 富士見パノラマスキー場(公社 赤字 町が支援)	信濃毎日 信濃毎日 信濃毎日 信濃毎日 信濃毎日 読売
70 長野県 蓼科アソシエイツスキー場(営業不振 休業 国有林)	信濃毎日
71 長野 開田高原マイアスキー場(村無償譲受)3セク清算へ	毎日
72 長野 野沢温泉スキー場 赤字 村営から民間に移管検討	読売
73 長野 存続に不安消えず 出資企業撤退 御岳ロープウェイ再開	朝日
74 長野 木曾町スキー場 大半が赤字経営	朝日
75 岐阜県 3セク めいほうスキー場(3億円債務超過)	中部読売
76 岐阜県 揖斐高原スキー場(営業会社解散 村に無償譲渡)	朝日 中日 中部読売 日経産業 中日
77 岐阜 パルクすごうスキー場(旧スノーランドすごう)閉鎖へ	中部 東京
78 岐阜 新穂高ロープウェイスキー場 入場者激減 今季を最後に閉鎖へ	中日
79 岐阜 飛騨高山スキー場 赤字 観光施設事業から市教委運営へ	中日
80 岐阜 飛騨かわいスキー場 町村合併を前に赤字に危機感	中日

81 岐阜 町営ひだ流葉スキー場 赤字 コスト削減に着手	中日
82 岐阜 公設民営スキー場 ペンシア・スノーワールド 来期閉鎖の可能性	中日
83 滋賀 比良山スキー場 町が無償譲受拒否 廃業 自然公園法による復元	京都 京都 京都
84 志賀 名鉄 びわ湖パレィスキー場 から3年以内に撤退へ	読売
85 京都 京福電鉄 比叡山人工スキー場を廃止	共同
86 島根県	朝日 朝日
87 島根 琴引フォレストパークスキー場 3セク 債務超過	中国
88 島根 さんべ温泉スキー場 経営不振 縮小存続	毎日
89 岡山県 岡山県 奥津スキー場(累積赤字)	毎日 読売
90 広島県 スノーリゾート猫山(127人が食中毒症状)	朝日
91 高知 大規模年金保養所 グリーンピア 巨額の累積債務で閉鎖	高知
92 宮崎 雲海酒造 3セク五ヶ瀬ハイランドを経営再建	読売 西日本 西日本 西日本



**広域地図、住宅地図、公図、建物図面、写真**

サンプルであるため  
広域地図、住宅地図、公図、建物図面、写真の記載を省略した。